

宮代町の教育

令和7年度

2025

憧れを未来につなぎ、
生きる力を育む宮代教育

未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成
町民の創意を生かした学びの場づくり



宮代町教育委員会

宮代町民憲章

古利根の清流と、光輝く緑にみちた歴史ある郷土宮代に
私たちは誇りと責任を自覚し、より明るく豊かな住みよいまちを築くため
夢と希望にみちた未来に願いを込めて、ここに町民憲章を定めます。

- 一 水と緑を愛し、美しいうるおいのあるまちをつくります。
- 一 きまりを守り、互いに助け合い、励ましあうまちをつくります。
- 一 教養をはぐくみ、文化の香り高いまちをつくります。
- 一 スポーツに親しみ、健康で活力のあるまちをつくります。
- 一 仕事に励み、明るい家庭を築いて、しあわせなまちをつくります。

昭和 60 年 11 月 1 日 制定



町の木

しいがし
椎 檜



町の花

はくもくれん
白木蓮



椎の木(しいのき)の異称。ブナ科の常緑高木で、高さ約10m。葉は長円形で厚く、つやがある。初夏に雄花・雌花が穂のように咲き、どんぐりの実がなる。防災用樹としても優れ、食用、建築・家具用など、用途が広い。雄々しく品格もあり、椎檜の呼称で親しまれている。



モクレン科の落葉高木。高さ約5m。早春、葉の伸びる前に、白い六弁のかおり高い大きな花が咲く。高い梢に咲く白く美しい花は、清浄で高貴なイメージがある。町内の家庭の庭先でも多く見かけ、町を象徴する花としてふさわしい。

— 目 次 —

1	宮代町の概要	1
2	教育委員会	4
3	令和7年度 教育委員会事務局組織及び事務分掌	5
4	令和7年度 宮代町教育行政重点施策	6
5	令和7年度 宮代町学校教育いきいきプラン	10
6	令和7年度 宮代町一般会計予算及び教育予算	11
7	宮代町教育施設	12
(1)	小中学校	13
(2)	教育施設	20
(3)	生涯学習施設	20
(4)	郷土資料館・西原自然の森	22
(5)	スポーツ施設	23
(6)	学校給食センター	26
8	学校給食	27
9	生涯学習	29

資 料 編

I	宮代町教育のあゆみ	34
II	歴代教育委員・教育委員長・教育長	44
III	教育関係附属機関等	45
IV	小中学校 児童生徒数・教職員数	46
V	学校給食	48
VI	指定文化財	50
VII	頒布資料	52
VIII	生涯学習施設利用統計	62

1 宮代町の概要

(1) 地理的環境



面積	15.95 k m ²
人口	33,343 人 男 16,636 人 女 16,707 人
世帯数	15,778 世帯

令和 7 年 4 月 1 日現在

宮代町は、関東平野のほぼ中央部にあり、埼玉県の東部に位置する。東経 139 度 43 分 37 秒、北緯 36 度 1 分 10 秒を測る。北西から南東に細長い形をした町である。

東部は北葛飾郡杉戸町、南部は春日部市、西部は白岡市、北部は久喜市にそれぞれ接している。

地形的には、大宮台地東側縁辺部にあたり、慈恩寺台地に基部をおき、北西から南東へ大きく張り出した台地と、その周囲の低地（侵食谷）からなっている。また、東側には古利根川が流れ、その沿岸には自然堤防の発達が認められる。

町域の殆どは都心から 40 k m 圏内にあり、東武鉄道が町を縦断しており、東武動物公園駅、姫宮駅、和戸駅の三駅を中心として市街地が形成されている。

(2) 人口及び世帯数

当町は、純農村地帯として昭和 40 年代まで大きな人口変動は見られなかったが、昭和 50 年代以降都市化の波によって急激な変化をきたしている。

昭和 30 年須賀村、百間村の合併当時の人口は 10,755 人、戸数 1,856 戸であった。昭和 40 年には、人口 13,025 人、戸数 2,737 戸と徐々に増加し、昭和 50 年には宮代台団地、学園台団地等の大規模な団地が造成された事もあって、人口 21,725 人、戸数 5,559 戸となった。さらに、昭和 52～53 年頃に姫宮北団地、同南団地等の造成などによって昭和 59 年 4 月には、人口 30,385 人、戸数 8,482 戸となった。現在、昭和 30 年の合併時より 3.1 倍程の伸びを示している。

(3) 歴史

○原始・古代 —宮代のあけぼの—

宮代町は、大宮台地東部に位置し周辺は低く平坦な台地が広がっており、一部埋没台地が認められ、それらの台地上を舞台として人々のくらしが展開された。

当町に初めて住民が移り住んだのは、昭和 55 年に行われた前原遺跡の調査によ

って、約 20,000 年前である事が明らかにされている。すなわち、氷河期にあたる旧石器時代後半の事である。赤土の中から、当時の人々が使用した石器が多数出土した。

人々が土器づくりを始めた縄文時代の遺跡は、町内で最も多く 30 数か所その所在が確認されている。ことに、前原遺跡では県内最古の縄文時代の集落（むら）が発掘され、7 軒の住居跡が検出された。このほか、縄文時代の全般を通じて人々の足跡を認める事が出来る。ことに、地藏院遺跡、山崎山遺跡等では縄文時代早期（約 7,000 年前）や後期（約 3,500 年前）の住居跡が発掘され、集落の存在が確認されている。また、縄文時代後期の貝塚としては西光院貝塚が知られており、オキシジミを主体とした小規模な貝塚がある。

弥生時代の遺跡は、現在のところ当町では確認されていないが、付近の市町でその所在が明らかにされており、当町でもおそらく存在する事はまちがいないものと考えられる。

古墳時代の遺跡は、数か所確認されており、ことに山崎山遺跡では埼玉県最古の 4 世紀後半の鍛冶工房跡が発掘されている。また、山崎山遺跡では本格的なカマドを持った 6 世紀前半の住居跡が発掘された。また、道仏遺跡でも多数の住居跡が発掘されている。一方、姫宮神社境内には 7 世紀前半の頃と推定される古墳がある。

平安時代には、この付近一帯は大田郷と称され、その末期には八条院領となり太田庄と呼ばれた。この時期の遺跡は、数ヶ所で確認されている。なお、西光院にある国の重要文化財である阿弥陀三尊像は、平安時代末安元 2 年（1176）の銘がある。

○中世 —鎌倉街道ぞいの村—

鎌倉へ至る街道として、県内には概ね 5 つの道筋があった事が知られている。そのうちの 1 つ、奥州道（中つ道）と称される街道が久米原、須賀を通り、古利根川を渡り、高野、幸手、古河方面へと通っていた。平安時代末には、すでに渡しがあり、さらに鎌倉時代元亨 4 年（1324）北条高時、金沢貞顕の発した文書から当時すでに橋が架かっていたことがわかる。また、室町時代の市場之祭文には、須賀、久米原に市が立ったことが記されている。

一方、百間については宝生院にある応永 21 年（1414）銘の鰐口に「武州太田庄南方百間姫宮鰐口一口」とあり、やはり古くから開けた土地である事がわかる。

戦国時代末期から安土桃山時代にかけて、岩槻城の北条氏政、北条氏房に仕えた百間東の土豪に鈴木雅楽助がいる。また、西光院には後北条氏関係の書状が今日に残されている。

一方、天正 19 年（1591）徳川家康は関東入国に伴い、西光院あて寺領 50 石を寄進している。

○近世 —新田開発による村の増加—

江戸時代当地域は、その大部分は旗本領であった、その初期（寛永・正保の頃）は、百間村、須賀村、蓮谷村、久米原村、和戸村、国納村の 6 か所、石高 4,800 石余りであった。ところが、元禄 8 年（1695）百間村が中・中島・東そして百間の 4

村に分かれた。久米原村も、延享 3 年（1764）一橋家領が、宝暦 13 年（1763）佐倉藩領がそれぞれ置かれ支配地によって西条原、東条原の 2 村に分かれた。その後さらに、新田開発によって幕末には 34 か村に達した。石高も幕末天保年間には、5,357 石と元禄年中より 553 石の増加をみている。なお、笠原沼の開発は、享保 13 年（1728）井沢彌惣兵衛によって行われ、250 石余りの新田が開かれた。

交通路としては、日光御成道は西条原、国納、和戸の各村を南北に通じ、幸手へと通じていた。この街道は、将軍が日光社参のおり通行したもので、元和 5 年（1619）将軍秀忠が通ったのを始めとして、以降代参も含めて歴代の将軍が通行した。

○近現代 一明治維新そして宮代町へ一

江戸も東京と改まり、明治へと時代も変わった。支配も、旗本領から廃藩置県によって武蔵知県事から大宮県、浦和県へさらに明治 4 年埼玉県へと移り変わって今日におよんでいる。

新田も含めて 34 か村にも分かれていた村々も、明治 7 年には旧須賀地区が 5 か村（国納、須賀、和戸、西条原、東条原）、旧百間地区が 7 か村（百間東、百間中、百間金谷原、百間西原、百間、蓮谷、百間中島）にそれぞれ統合された。さらに、明治 22 年には町村制施行により 7 か村を統合して百間村に、5 か村を統合して須賀村とした。

昭和 30 年 7 月 20 日百間村、須賀村が合併し町制が施行され、宮代町が成立し今日に至っている。

一方、明治 6 年に学制が施行され百間に進修学校、西条原に西條学校が設立され、明治 7 年和戸学校、明治 9 年には道仏に中島学校がそれぞれ開設された。

交通関係としては、明治 32 年に東武伊勢崎線北千住-久喜間が開業したのに伴い、杉戸駅、和戸駅が開業した。昭和 2 年姫宮駅が開業、昭和 4 年には杉戸駅から東武日光線が分岐した。杉戸駅は、昭和 57 年東武動物公園の開園に伴い、東武動物公園駅と改称された。

(4) 宮代町の地名

宮代町は、昭和 30 年須賀村、百間村が合併して出来た町である。その町名は、百間村の総鎮守姫宮神社の「宮」と、須賀村の鎮守である身代神社の「代」をそれぞれとって現町名の一部とし出来たものである。

ところで、旧村名である百間の地名の最古の記録は姫宮神社々前に掛けてあったという鰐口の銘であり、応永 21 年（1414）と記されており、古い地名である事は明らかである。一方、須賀は鎌倉時代の寛喜 2 年（1230）小山朝政の文書に出てくるのが最古であり、古い地名である事がわかる。また、字名は旧須賀地区については明治 22 年の合併前の旧村名を大字とし、旧百間村についても当初同じく旧村名を大字としたが、昭和 5 年大字と小字を廃し新たに 10 の字に変更し今日に至った。

2 教 育 委 員 会



島村 圭一 教育長



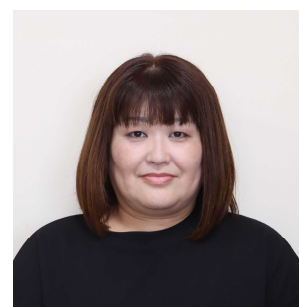
深井 美智子 教育長職務代理者



瀧ヶ崎 隆司 委員



山田 鋭生 委員



大和田 由梨 委員

(1) 教 育 委 員

役職名	氏 名	任 期
教 育 長	島 村 圭 一	令和7年4月1日 ～ 令和10年3月31日
教 育 長 職務代理者	深 井 美智子	令和3年12月11日 ～ 令和7年12月10日
委 員	瀧ヶ崎 隆司	令和4年6月12日 ～ 令和8年6月11日
委 員	山 田 鋭 生	令和7年1月23日 ～ 令和11年1月22日
委 員	大和田 由 梨	令和6年10月1日 ～ 令和10年9月30日

3 令和7年度 教育委員会事務局組織及び事務分掌（主な担当）

副課長 〔小川雅也〕 内線 425～427 学校管理幹 兼副課長 〔加藤裕一〕 内線 422～424 教育長 〔島村圭一〕 教育推進課長 〔田中啓之〕 内線421	教育総務担当〔高橋道彰、埜中美也、指田瞭、矢口陸〕 教育委員会の会議に関すること。 教育委員会規則等の制定改廃に関すること。 学校の設置、管理及び廃止に関すること。 教育予算の総括に関すること。 公印の保管に関すること。 文書の收受、発送、整理保管に関すること。 表彰、叙位叙勲に関すること。 調査、記録、統計及び広報に関すること。 入学準備金補助金及び奨学資金に関すること。 学校施設の財産の管理に関すること。 学校施設の整備、維持及び管理に関すること。 学校施設の設備及び備品の整備に関すること。 学校給食の施設に関すること。 教育行政に関する相談に関すること。 学校用務員、学校用務補助員に関すること。 学校給食の管理運営に関すること。
	学校教育担当〔齋藤真美子、嘉茂達哉、三浦洋介、小島英樹 毛塚悟、會田知子〕 通学区域及び学区等審議会に関すること。 児童生徒の就学及び転学に関すること。 学齢簿の編製及び保管並びに学級編制に関すること。 教材教具の整備に関すること。 就学援助費に関すること。 教科用図書の採択及び無償給与に関すること。 県費負担教職員の人事及び服務に関すること。 教職員の指導、助言及び研修に関すること。 学校教育の指導及び助言に関すること。 学校における人権教育の指導に関すること。 教育相談・適応指導教室及び就学支援委員会に関すること。 体力向上推進委員会に関すること。 児童、生徒並びに教職員の健康管理並びに安全等に関すること。 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。 学校の環境衛生に関すること。 教職員の福利厚生に関すること。
	生涯学習・スポーツ振興担当〔川崎章人、飯山武、中村佐登志 新井幸子、木内穂貴、吉岡茜〕 社会教育事業の企画、運営に関すること。 社会教育関係団体の指導育成に関すること。 文化団体及び文化活動に関すること。 人権教育に関すること。 家庭教育学級に関すること。 青少年対策に関すること。 青少年教育、女性教育及び成人・高齢者教育等生涯学習に関すること。 青少年健全育成推進委員会に関すること。 公民館施設設備の管理に関すること。 公民館の活用及び利用者会議に関すること。 図書館に関すること。 社会体育の調査研究及び企画に関すること。 社会体育団体及び指導者育成に関すること。 社会体育事業の企画及び運営に関すること。 社会体育及びレクリエーションの普及振興に関すること。 スポーツ推進委員に関すること。 社会体育施設の管理に関すること。 社会体育施設の活用及び利用者会議に関すること。 学校体育施設の開放及び利用者会議に関すること。
	生涯学習室長 〔飯山保孝〕 内線 431～435
	（直通）34-8882 文化財保護担当〔山崎健司、河井伸一、横内美穂、中村啓子〕 郷土資料館の維持管理に関すること。 資料の調査研究、収集・整理・保存、展示及び活動に関すること。 文化財の調査、保護、管理及び保存活用に関すること。 文化財保護委員会に関すること。 町史資料の調査、収集及び町史編さんに関すること。 前各号に掲げるもののほか、文化財保護及び町史編さん並びに郷土資料館に関すること。

4 令和7年度 宮代町教育行政重点施策

宮代町教育委員会は「憧れを未来につなぎ生きる力をはぐくむ宮代教育」を将来像として、人間尊重の精神を基調として、生涯学習社会を築き、時代や社会の変化に積極的、かつ柔軟に対応した教育を推進するため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項を2つの方針と5つの基本目標からなる「宮代町教育振興基本計画（R3-R7）」としてまとめました。

さらに、この計画に掲げた各施策を着実に実行していくため、毎年度の重点的な取り組みを重点施策としてまとめています。

基 本 目 標

方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成

- 1 確かな学力と自立する力の育成
- 2 健康で心豊かな児童生徒の育成
- 3 地域に開かれた質の高い学校教育の推進

方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり

- 4 家庭・地域の教育力の向上
- 5 生涯学習とスポーツの振興

方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成

基本目標1 確かな学力と自立する力の育成

〔所 管〕

（１）一人一人のよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育の充実

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| ア 授業改善と指導方法の工夫・改善 | 〔学校教育担当〕 |
| イ 一人一台情報端末を活かした学びの推進 | 〔教育総務担当〕
〔学校教育担当〕 |
| ウ 学力・学習状況調査等の結果の分析と活用 | 〔学校教育担当〕 |
| エ 少人数指導・習熟度別指導によるきめ細やかな指導の充実 | 〔学校教育担当〕 |
| オ 中学校区における特色ある小中一貫教育の推進 | 〔学校教育担当〕 |

（２）伝統と文化を尊重し、国際性をはぐくむ教育の推進

- | | |
|-------------------|----------|
| ア 伝統と文化を尊重する教育の推進 | 〔学校教育担当〕 |
| イ 外国語活動・英語教育の推進 | 〔学校教育担当〕 |

（３）社会の変化に柔軟に対応する学校教育の推進

- | | |
|------------------|----------------------|
| ア 一人一台情報端末の積極的活用 | 〔教育総務担当〕
〔学校教育担当〕 |
| イ 情報教育の推進 | 〔学校教育担当〕 |
| ウ 環境教育の推進 | 〔学校教育担当〕 |

（４）特別支援教育の推進

- | | |
|---------------------------|----------|
| ア 適正な就学を目指した就学支援の充実 | 〔学校教育担当〕 |
| イ 特別支援教育体制の確立と交流及び共同学習の推進 | 〔学校教育担当〕 |
| ウ 特別支援教育サポーターの効果的活用 | 〔学校教育担当〕 |

(5) 教職員の資質向上

ア 人事評価制度の活用	〔学校教育担当〕
イ 教職員研修の充実	〔学校教育担当〕
ウ 教職員モラルの向上	〔学校教育担当〕
エ 教職員の健康管理の充実	〔学校教育担当〕
オ 学校における働き方改革の推進	〔学校教育担当〕

(6) 学習環境の整備・充実

ア 学校施設・設備の整備	〔教育総務担当〕
イ 教材教具の整備と効果的な活用	〔学校教育担当〕
ウ 町立小中学校の適正配置	〔教育総務担当〕
エ 就学に対する支援	〔学校教育担当〕

基本目標2 健康で心豊かな児童生徒の育成

〔所 管〕

(1) 豊かな心を育む教育の推進

ア 道徳教育の推進	〔学校教育担当〕
イ 豊かな心を育む体験活動の推進	〔学校教育担当〕
ウ 読書活動の充実	〔学校教育担当〕
エ 進路指導・キャリア教育の推進	〔学校教育担当〕

(2) 総合的な不登校対策の推進

ア 教育相談体制の充実、適応指導教室の活用	〔学校教育担当〕
イ 不登校対策の推進	〔学校教育担当〕

(3) 健康・安全教育の推進

ア 交通安全教育の推進	〔学校教育担当〕
イ 防災教育の推進	〔学校教育担当〕
ウ 防犯教育の推進	〔学校教育担当〕
エ 体力向上を図る活動の充実	〔学校教育担当〕
オ 学校保健の充実	〔学校教育担当〕

(4) 学校教育における人権教育の推進

ア 人権教育推進体制の充実	〔学校教育担当〕
イ 人権教育の指導内容、指導方法の工夫・改善	〔学校教育担当〕
ウ いじめ防止対策の推進	〔学校教育担当〕

(5) 学校給食の充実と食育の推進

ア 学校給食の充実	〔教育総務担当〕
イ 食育の推進	〔教育総務担当〕

基本目標3 地域に開かれた質の高い学校教育の推進

〔所 管〕

(1) 家庭・地域と連携した特色ある学校づくりの推進

ア コミュニティ・スクール設置の推進とその充実	〔学校教育担当〕
イ 学校応援団の推進	〔学校教育担当〕
ウ 家庭・地域と連携した学校の安全対策の推進	〔学校教育担当〕

(2) 大学等と連携した学校教育の推進

ア サイエンスプロジェクトの推進	〔学校教育担当〕
イ プログラミング教育の充実	〔学校教育担当〕

(3) 家庭・地域への情報発信の推進

ア 学校教育情報の積極的な発信	〔教育総務担当〕
イ 学校評価の充実	〔学校教育担当〕 〔教育総務担当〕

方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり**基本目標4 家庭・地域の教育力の向上**

〔所 管〕

(1) 家庭の教育力の向上

ア 家庭教育事業の推進	〔生涯学習室〕
イ 家庭教育への支援	〔教育総務担当〕

(2) 青少年健全育成の推進

ア 青少年が健やかに成長できる環境づくりの推進	〔生涯学習室〕
イ 青少年体験活動の推進	〔生涯学習室〕
ウ 育成団体との連携・支援	〔生涯学習室〕

（１）町民の創意を生かした生涯学習の推進

ア 生涯学習の機会の充実	〔生涯学習室〕
イ 公民館活動の充実	〔生涯学習室〕
ウ 図書館活動とサービスの充実	〔生涯学習室〕
エ 文化芸術の振興	〔生涯学習室〕

（２）人権教育の推進

ア 地域社会や職域における人権教育の推進	〔生涯学習室〕
イ 人権啓発資料の充実	〔生涯学習室〕
ウ 人権教育指導者の育成	〔生涯学習室〕

（３）郷土の伝統文化の継承と新しい町民文化の創造

ア 文化財保護の推進	〔文化財保護担当〕
イ 遺跡の保護と調査研究の推進	〔文化財保護担当〕
ウ 文化財の活用と郷土学習の推進	〔文化財保護担当〕
エ 資料館活動の充実	〔文化財保護担当〕

（４）地域スポーツの振興

ア 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	〔生涯学習室〕
イ 誰でも気軽に参加できる健康・体力づくり活動の推進	〔生涯学習室〕
ウ スポーツ施設の運営と利用促進	〔生涯学習室〕
エ 学校体育施設利用の促進	〔生涯学習室〕
オ スポーツ指導者の養成と団体支援	〔生涯学習室〕



令和7年度 宮代町学校教育いきいきプラン

夢

絆

創造



【小中一貫教育】～校長交換講話（オンライン）～

宮代町の教育

基本理念：「憧れを未来につなぎ生きる力をはぐくむ宮代教育」

人間尊重の精神を基調として、生涯学習社会を築き、時代や社会の変化に積極的、かつ柔軟に対応した教育を推進します
（令和7年度宮代町教育行政重点施策）



1人1台情報端末の活用

《基本目標1》

確かな学力と自立する力の育成

- (1) 一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育の充実
ア授業改善と指導方法の工夫・改善
イ1人1台情報端末・デジタル教科書を活かした学びの推進
ウ埼玉県学力・学習状況調査（CBT）の適切な実施及び学力学習状況調査等の結果の分析と活用
エ少人数指導・習熟度別指導によるきめ細やかな指導の充実
オ中学校区における特色ある小中一貫教育の推進

- イ教職員の健康・安全管理の向上
ウ教職員研修の充実
エ教職員モラルの向上
オ学校における働き方改革の推進
カ学習環境の整備・充実
ク学校施設・設備の整備
ケ教材教具の整備と効果的な活用
コ町立小中学校の適正配置
サ就学に対する支援

- (2) 伝統と文化を尊重し、国際性をはぐくむ教育の推進
ア伝統と文化を尊重する教育の推進
イ外国語活動・英語教育の推進

- (3) 社会の変化に柔軟に対応する学校教育の推進
ア1人1台情報端末の積極的活用
イ情報教育の推進
ウ環境教育の推進

《基本目標4》家庭・地域の教育力の向上

- (1) 家庭の教育力の向上
ア家庭教育学級活動の推進
イ家庭教育への支援

- (2) 青少年健全育成の推進

- ア青少年が健やかに成長できる環境づくりの推進
イ青少年体験活動の推進
ウ育成団体との連携・支援

《方針Ⅰ》 未来を拓く、心豊かでたくましく児童生徒の育成

【宮代町学校教育の3つの目標】

- 1 確かな学力と自立する力の育成
- 2 健康で心豊かな児童生徒の育成
- 3 地域に開かれた質の高い学校教育の推進

《基本目標2》

健康で心豊かな児童生徒の育成

- (1) 豊かな心をはぐくむ教育の推進

- ア道徳教育の推進
イ豊かな心をはぐくむ体験活動の推進
ウ読書活動の充実
エ進路指導・キャリア教育の推進

- (2) 総合的な不登校対策の推進

- ア教育相談体制の充実
ウ教育支援センターとの連携
エ不登校対策の推進
オ自殺予防教育の推進

- (3) 健康・安全教育の推進

- ア交通安全教育の推進
ウ防災教育の推進
エ体力向上を図る活動の充実
オ学校保健の充実

《基本目標5》生涯学習とスポーツの振興

- (1) 町民の創意を生かした生涯学習の推進

- ア生涯学習機会の充実
イ公民館活動の充実
ウ図書館活動とサービスの充実
エ文化芸術の振興

- (2) 人権教育の推進

- ア地域社会や地域における人権教育の推進
イ人権啓発資料の充実
ウ人権教育指導者の育成

- (3) 郷土の伝統文化の継承と新しい町民文化の創造

- ア文化財保護の推進
イ遺跡の保護と調査研究の推進
ウ文化財の活用と郷土学習の推進
エ資料館活動の充実

- (4) 地域スポーツの振興

- ア生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進
イ誰でも気軽に参加できる健康・体力づくり活動の推進
オスポーツ指導者の養成と団体支援

- (4) 学校教育における人権教育の推進

- ア人権教育推進体制の充実
イ人権教育の指導内容、指導方法の工夫・改善
ウいじめ防止対策の推進

- (5) 学校給食の充実と食育の推進

- ア学校給食の充実
イ食育の推進

《基本目標3》

地域に開かれた質の高い学校教育の推進

- (1) 家庭・地域と連携した特色ある学校づくりの推進

- アコミュニティ・スクールの推進
イ学校応援団の推進
ウ家庭・地域と連携した学校の安全対策の推進

- (2) 大学等と連携した学校教育の推進

- ア日工大サイエンスプロジェクトの推進
イプログラミング教育の充実

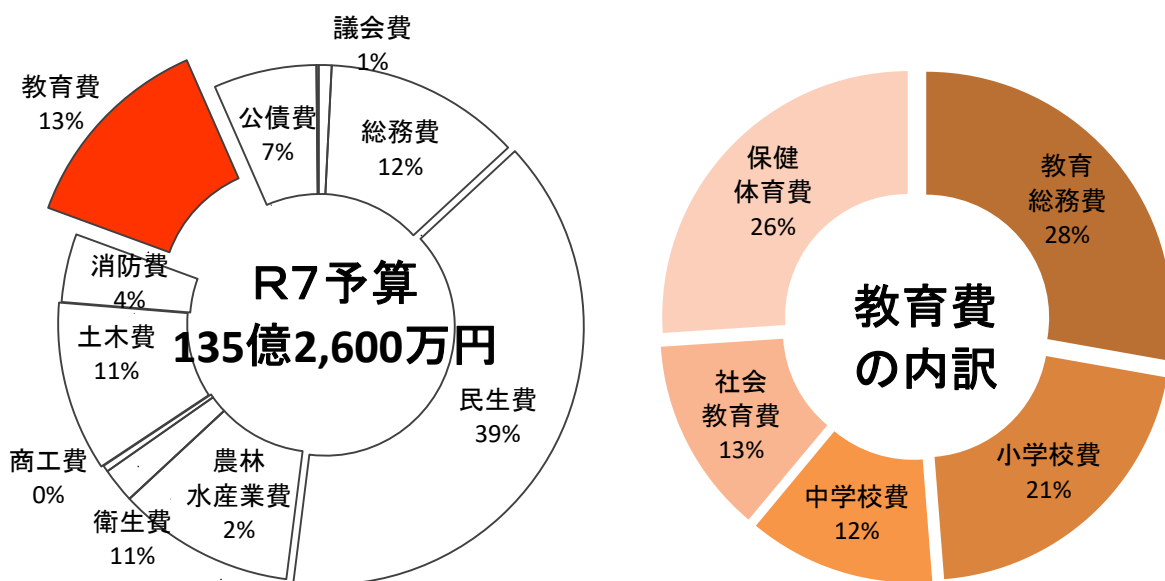
- (3) 家庭・地域への情報発信の推進

- ア学校教育情報の積極的な発信
イ学校評価の充実

《方針Ⅱ》 町民の創意を生かした学びの場づくり

6 令和7年度 宮代町一般会計予算及び教育費予算

令和7年度の教育関係予算の総額は、町一般会計予算の約13%、約17億3,431万円です。



○一般会計の内訳

〔単位:千円〕

項目	説明	R 7 予算	増減	R 6 予算	R 5 予算	R 4 予算
議会費	町議会の運営	108,281	1,015	107,266	108,010	107,354
総務費	総務、環境、交通安全	1,663,810	▲ 615,405	2,279,215	1,385,863	1,429,177
民生費	福祉	5,262,090	448,582	4,813,508	4,506,211	4,384,477
衛生費	保健・衛生	1,500,495	189,294	1,311,201	1,244,719	1,049,364
労働費	消費者相談	52	0	52	52	65
農林水産業費	農業	294,411	▲ 16,339	310,750	251,550	241,239
商工費	商工業振興、観光	54,679	▲ 4,277	58,956	58,156	56,762
土木費	道路、上下水道、公園	1,437,172	166,093	1,271,079	1,239,104	1,080,244
消防費	消防	578,851	14,949	563,902	550,217	489,111
教育費	学校教育、社会教育	1,734,305	321,077	1,413,228	1,307,823	1,152,591
公債費	借入金返済	871,478	42,708	828,770	848,223	849,588
その他	予備費	20,376	303	20,073	20,072	20,028
合計		13,526,000	548,000	12,978,000	11,520,000	10,860,000

○「教育費」の内訳

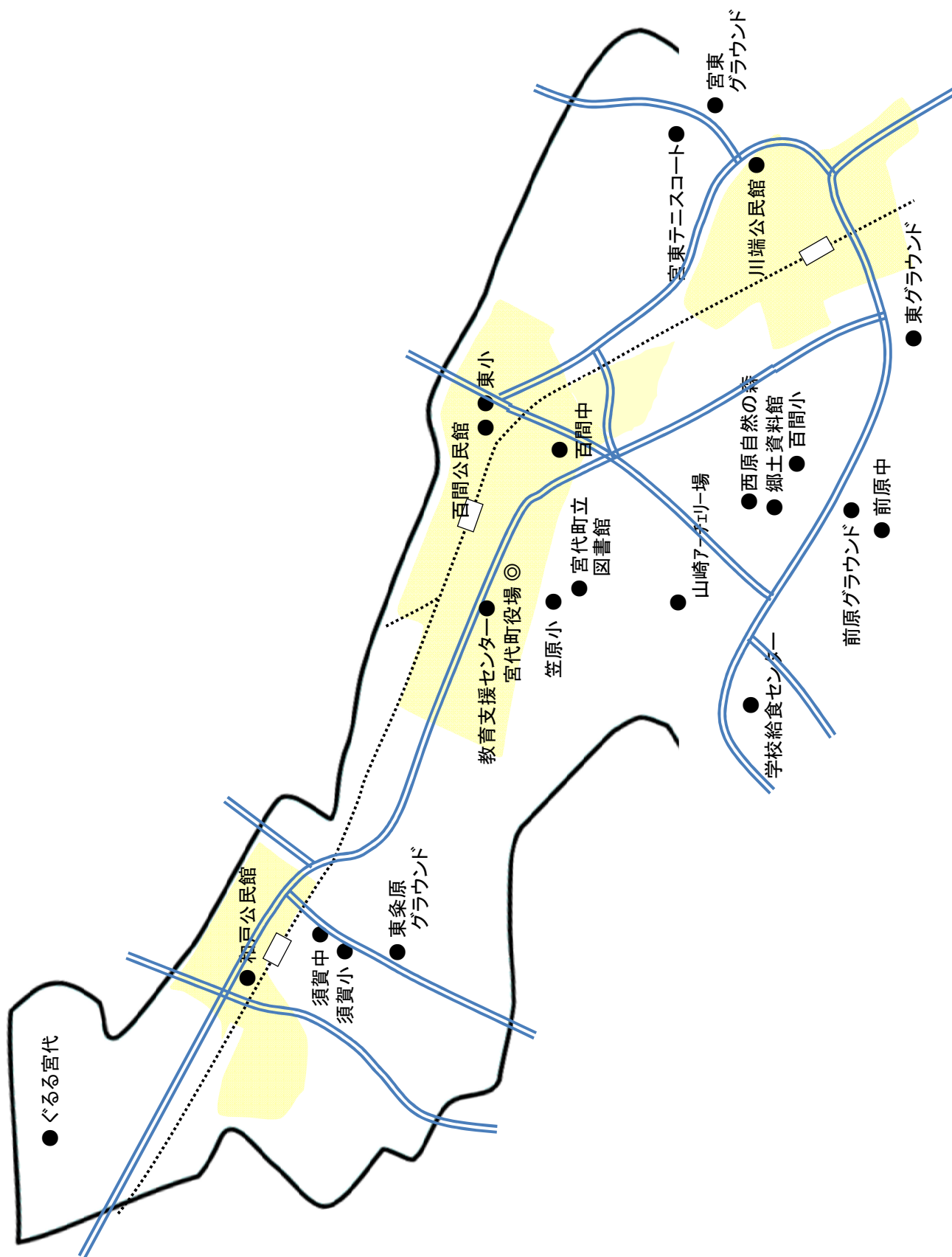
〔単位:千円〕

項目	説明	R 7 予算	増減	R 6 予算	R 5 予算	R 4 予算
教育総務費	事務局費	482,400	▲ 27,840	510,240	317,473	287,891
小学校費	小学校管理	363,229	223,222	140,007	161,211	115,657
中学校費	中学校管理	213,159	82,079	131,080	170,517	130,076
社会教育費	生涯学習、図書館、資料館	223,927	4,891	219,036	221,816	215,138
保健体育費	学校給食、スポーツ振興	451,590	38,725	412,865	436,806	403,829
合計		1,734,305	321,077	1,413,228	1,307,823	1,152,591

《参考》

項目	説明	R 7 予算	増減	R 6 予算	R 5 予算	R 4 予算
児童数		1,534人	▲ 44人	1,578人	1,583人	1,548人
1人あたり	小学校費÷児童数	23.7万円	14.8万円	8.9万円	10.2万円	7.5万円
生徒数		725人	▲ 2人	727人	685人	685人
1人あたり	中学校費÷生徒数	29.4万円	11.4万円	18.0万円	24.9万円	19.0万円

7 宮代町の教育施設



(1) 小中学校



須賀小学校

創 立 明治6年5月16日
校 長 金野 泰久
児 童 数 287名
教職員数 28名

住 所 宮代町大字須賀1425-1
電 話 0480(33)1325
開校記念日 4月16日
教 頭 木下 喜子
学 級 数 13学級
HPアドレス <https://www.fureai-cloud.jp/sukasho/>

【特 色】

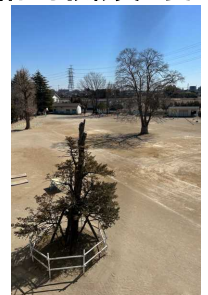
- ・須賀中学校との連携を深め、小中9か年を見通した一貫性のある教育活動の推進
- ・学力向上を目指した授業改善の取組と国語教育の充実

【学校教育目標】

- (1) 学校教育目標 ○学ぶ子 ○やさしい子 ○元気な子
～ 合い言葉「力いっぱい」～
- (2) 目指す学校像 ～ 地域と共に創る『あいさつと学びの声が響き合う』温故知新の学校 ～

【令和7年度における10の指導の重点】

(1) 学習指導の充実 ①「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習過程の工夫 ②小中9か年を見通した学習規律の浸透 ③デジタル教科書の活用充実と指導事項を押さえた話し合い活動の充実(次の学びにつなげる、「振り返り」を土台とした授業づくり) ④少人数指導・習熟度別学習・TTによる指導の充実 ⑤「学力向上パワーアップタイム」の実施 ⑥各種学力調査結果の分析等による、学力向上策の見直し ⑦家庭学習の習慣化と定着 ⑧読書活動の推進 (2) 学年・学級経営の充実 ①信頼関係に満ちた学年・学級経営の実践 ②学級活動の工夫と充実 (3) 健康教育・体力向上に向けた取組の充実 ①生涯にわたって心身ともに健康な人づくりの基盤としての健康教育の充実 ②心と体を鍛える体育的活動の充実(主運動につなげる感覚づくり運動の充実) ③食育指導の充実(栄養教諭による授業の実施) ④自分の健康を守る意識の高揚(変化やニーズに柔軟に対応した教育活動の推進) (4) 道徳教育・特別活動・生徒指導の充実 ①道徳的実践力の育成と基本的生活習慣の定着 ②児童の主体的・自治的・自発的活動の指導・支援の充実 ③不登校解消といじめ問題への早期対応・組織的対応、再発防止・関係機関(町教育支援センター)との連携 ④「あいさつの5つのパワー」を軸としたあいさつ指導 ⑤心をこめた清掃活動の充実 ⑥「かやの木賞」で自己効力感UP	(5) 特別支援教育・学校教育相談体制の充実 ①「個別の指導計画」によるきめ細かな指導と通級学級との交流 ②対人関係スキルを身に付ける発達支持的教育相談体制の確立 (6) 安全教育の充実 ①学級等における安全教育の充実(「自分の命は自分で守る」) ②通学路の安全点検と安全指導の充実 ③校内の安全点検の徹底 ④防犯、防災に対応した訓練の実施 ⑤学校・家庭・地域連携による交通安全指導の充実 (7) 人権教育の推進 ①人権を尊重する教育の推進(人権感覚の育成) ②よりよい人的環境づくり(優しい言語環境づくり) (8) 教育環境の整備(須賀小ポータルサイトを活用した情報の一元化) ①言語環境の整備 ②学校HPのワンストップサービス化等 ③掲示教育の充実 ④美化活動・清掃活動の充実 (9) 小中一貫教育、幼保小接続の推進 ①9か年を見通した学習活動・生徒指導・キャリア教育の推進 ②幼稚園・保育園・こども園との連携・教育の接続の推進(小1プロブレムの解消) (10) 学び続ける教職員・夢と希望を語れる教職員・愛情をもった教職員として (Smile Speed Sence) ①状況把握を他人事にしないチーム力を高める。 ②「思いやり+行動=感動」を体感し合う。 ③相手軸の対応力を高める・広げる。
---	---



須賀小のシンボル「楓の木&榎木」

【令和7年度の研修課題】

《研究主題》 ・自ら学びとる学習者の育成 ～学びを振り返り、次の学びにつなげ、深める～ (1年次)



百間小学校

住 所

宮代町西原 261

電 話

0480(32)0157

創 立 明治6年5月15日

開校記念日

5月15日

校 長 竹内 知子

教 頭

小倉 伸也

児 童 数 304名

学 級 数

14学級

教職員数 33名

HPアドレス

<https://www.fureai-cloud.jp/monsho/>

【特 色】

- (1) 歴史と伝統、緑豊かな環境を生かした教育実践による郷土愛、愛校心の育成
 - ・郷土資料館や町史跡、ステップみやしろ（社会福祉施設）等を活用した体験学習の推進
 - ・国の登録有形文化財「百間小学校すべり台」を宝物として継承
 - ・米作り体験（田植え、稲刈り）、野菜作り体験（勤労体験学習）
- (2) 小・中一貫教育の充実による9年間を見通した子どもたちの育成
 - ・百間小・前原中「Mプラン」に基づいた教育の推進
 - （・目指す児童生徒像の系統 ・学力の向上 ・豊かな心の育成）
- (3) 交流活動の推進による豊かな心の育成
 - ・特別支援学校の友だちとの交流活動の実施
 - ・異年齢縦割りグループによる集会活動、清掃活動、なかよし遊び、全校縦割り遠足等の実践

【学校教育目標】

- (1) 学校教育目標 心豊かなたくましい児童の育成 ○進んで学ぶ子 ○やさしい子 ○たくましい子
- (2) 目指す学校像『「子供たちの幸せのために」生きる力を育む学校づくり』
～物事に全力投球で取り組み、心配りのできる児童の育成～ 合言葉：「全力投球」「心配り」
 - ・一人一人が、居心地よく、学習や運動にいきいきと取り組める学校
 - ・自分のよさを見つけ、自信を持ち、「夢」や「希望」を育ませる学校
 - ・節度をもち、挨拶がきちんとでき、仲間と共に高め合う温かな学校
 - ・教育環境が整備され、きれいな学校
 - ・保護者や地域から信頼される学校

【今年度の重点・努力点】

- (1) 互いのよさを認め、自信を育む学年・学級経営
 - ・児童同士の心のふれあい 教師の適切な言葉かけ
 - ・教師と児童との人間的ふれあい「挨拶」「話す」「遊ぶ」機会の設定
- (2) 確かな学力の育成
 - ・わかる授業の実践 ・学習のルールの徹底 ・基礎学力の育成
 - ・個に応じた指導の工夫・実践 ・学び方を身に付け、進んで学習する児童の育成
- (3) 心の教育の充実
 - ・潤いのある環境づくり ・気持ちのこもった挨拶の励行
 - ・自他の命と体を大切にする教育の推進
 - ・基本的規範意識の育成 ・体験的活動・体験活動の推進
 - ・道徳の時間を核にした全教育活動での道徳教育の推進
- (4) 体力と気力を育む教育の推進
 - ・基本的生活習慣の育成 ・健康づくりの推進（望ましい生活習慣の育成） ・進んで働く子の育成
 - ・体育授業の質の向上「心と身体を育む体育授業の継続」 ・運動の日常化を図る工夫
 - ・外遊びの奨励 ・体育的環境の整備
- (5) 社会力を育む教育の推進
 - ・「礼を正し、場を浄め、時を守る」習慣づけ
 - ・他者との関わり「心配り」 ・挨拶を大切に教育
 - ・特別活動の充実を通し、人間関係形成力を育成 ・人権教育の推進
 - ・環境問題に気づき、環境を守ろうとする心と態度の育成 ・ボランティア活動等を重視し、福祉の心の育成



【令和7年度の研修課題】 自ら考え、新しい見方・考え方を発見し、「自分でできる」を実感できる児童の育成
～仲間と伝え合う中で、考えを深める授業の創造～（4年次）



東 小 学 校

創 立 昭和33年4月1日
校 長 高野 桂子
児童数 376名
教職員数 30名

住 所
電 話
開校記念日
教 頭
学級数
HPアドレス

宮代町百間5-8-48
0480(32)0214
4月18日
萩原 信和
15学級

<https://www.fureai-cloud.jp/mhigashi/>

【特 色】

開校67年目となります。学校教育目標『自ら学ぶ子』『よく考える子』『いつも元気な子』『こころの豊かな子』の育成を目指し、6つの気「本気、根気、元気、勇氣、やる気、克己」を合い言葉に教育活動を展開しています。

今年度は『子供たちの輝く笑顔のために』を重点に掲げ、「心の教育の充実」（自他の心身を大切に作る児童の育成）「豊かな学力の育成」（楽しく、自ら学ぶことのできる児童の育成）「特色のある取組」（他校種、地域との連携）を推進していきます。

【学校教育目標】『自ら学ぶ子』

- ・よく考える子
 - ・いつも元気な子
 - ・こころの豊かな子
- 東小「よ・い・こ」の育成



【今年度の重点・努力点】

〈目指す学校像〉憧れを未来につなぎ、生きる力を育て、地域とともに歩む学校

（1）楽しい学びができる学校

- 児童が主体的に、楽しい学びができる。
- 分かる授業、できる授業を実践している。

（2）健康で楽しく運動ができる学校

- 児童が毎日明るく元気に登校している。
- 進んで運動に取り組み、外遊びができる。

（3）友達と仲よくできる学校

- たくさんの友達と仲良くできる。
- 様々なふれ合いを通して思いやりや優しさを醸成している。

（4）安心、安全で潤いのあるきれいな学校

- 児童が安心して学校生活ができる。
- きれいで、潤いのある環境が整っている。

（5）学校と家庭、地域が「絆」で結ばれている学校

- 学校の情報を保護者や地域に積極的に発信している。
- 学校が地域に開かれ、地域から信頼されている。

（6）教職員が生き甲斐をもって活動している学校

- 教職員が生き生きと教育活動を行っている。
- 「チーム東小」の一員として志をもち、誇りをもって教育を行っている。



【令和7年度の研修課題】

「自ら考え、学びに向かう東っ子の育成」
～ 「自分らしい学び」の追求 ～
(宮代町教育委員会研究委嘱 2年次)





笠原小学校

創 立	昭和56年4月1日	住 所	宮代町字百間 1105 番地
校 長	山口 隆夫	電 話	0480(34)8480
児童数	567名	開校記念日	5月1日
教職員数	38名	教 頭	春山 祐美子
		学級数	22学級
		HPアドレス	https://www.fureai-cloud.jp/kasasho/

【特 色】

「学校はまち」「教室はすまい」「学校は思い出」の3つのコンセプトにより造られた学校である。「赤い校舎の竜宮城」といわれる特色ある施設を活用し、はだしの教育や豊かな体験活動を通して、感性や創造力を伸ばす楽しく夢のある学校づくりをしている。

児童一人一人の学ぶ権利を保障しながら、全教職員の創意で「児童の人格の完成」をめざす教育を実現していきます。

【学校教育目標】

学びをつなぐ教育

「自分を創る子」

- ◇自ら学ぶ子 (本は知恵の友だち) ～自分から～
＜主体性・想像性・独自性＞
- ◇心豊かな子 (花は心の友だち) ～いっしょに～
＜共生・協働・共有＞
- ◇たくましい子 (風は光る友だち) ～最後まで～
＜努力・勇気・継続＞



豊かな農業体験

人がうれしくなる 言葉・行動



【学校経営方針】

「一人一人の夢と笑顔と元気があふれる笠原小学校」
～見つめ、気づき、考え、行動する児童の育成～

【今年度の重点・努力点】

- ①子供たち一人一人が、夢をもって主体的に楽しく学び、成長できる学校
- ②子供たち一人一人が、笑顔で、心優しく、友だちと仲よくできる学校
- ③子供たち一人一人が、健康で楽しく元気いっぱい運動できる学校
- ④子供たちが生き生きと活動できる、安心安全で潤いのあるきれいな学校
- ⑤学校と家庭地域が目標を共有し、「絆」で結ばれている学校

【令和7年度の研修課題】

「豊かな心を持ち、よりよく生きていくことのできる児童の育成」
～道徳科における指導方法の工夫・改善（2年次）～



全校一人一鉢活動



鼓笛隊による演奏



感謝の会



ハーモニー祭



須賀中学校

創 立 昭和22年4月1日 開校記念日
 校 長 谷 義明 教 頭
 児 童 数 147名 学 級 数
 教職員数 30名 HPアドレス

住 所
電 話

宮代町大字須賀 1426-1
0480(33)1326
4月16日

渡辺 貴子
8学級

<https://www.fureaicloud.jp/sukachu/>

【特 色】

- 1 本校は、宮代の教育「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」の実現をめざし、合い言葉『全力』のもと、生徒、教職員とともに保護者や地域の支援をいただき、日々の教育活動を進め、活力ある学校づくりに取り組んでいる。「須賀中合唱」をはじめとし、須賀中の伝統と誇りを継承しながら、創立80周年に向け、「不易と流行」を意識した取組も進めている。学習面では教科指導力の向上と評価の工夫・改善に努め、基礎的基本的な学力の確実な定着と授業における「主体的・対話的で深い学び」と「思考力・判断力・表現力の向上」の学習指導に取り組むことで学力向上を図っている。
- 2 須賀小学校との小中一貫教育については、これまでの児童・生徒の交流活動と教職員の合同研修会、相互授業参観等、継続して取り組んでいる。昨年からは小中合同避難訓練も再開し、安全教育にも連携を深めている。小中それぞれの発達段階を活かしながら、系統性を意識した学習指導や生徒指導等について、独自の特色ある教育活動を織り交ぜながら推進している。
- 3 地域の外部指導者による部活動指導など、学校・家庭・地域社会が連携を図り、地域に根ざした教育活動の推進に努めている。授業や学校行事を中心に学校を積極的に公開し、PTAや学校運営協議会と連携しながら学校づくりに取り組んでいる。

【学校教育目標】「全力で、最善の生き方を追求する生徒」

合 い 言 葉 「全力」
 目指す学校像 「生徒が自信と誇りのもてる学校」
 校 花 「白木蓮」 ～上に向いて咲く花～
 全力プライド 行動目標として、以下の6項目を掲げ、取り組んでいる。

- ①進んで行動します
- ②課題解決に向けて努力します
- ③誰とでも仲良く協力します
- ④真心ある挨拶を自分から行います
- ⑤集中して授業に臨みます
- ⑥一歩一歩着実に取り組みます

伝統の合唱



小学生に合唱を披露する会



挨拶運動&募金活動



【今年度の重点・努力点】

- 1 確かな学力の定着
- 2 豊かな心の育成
- 3 一人一人を大切にする教育相談の充実
- 4 体験活動の積極的な推進
- 5 須賀小中一貫教育の推進
- 6 家庭、地域との連携

【令和7年度の研究主題】

生きる力をはぐくむ小中一貫教育

「主体的・協働的な学びを通じた確かな学力の育成」 ～ 生徒の思考力・判断力・表現力の向上を図る授業改善 ～



百間中学校

創立 昭和22年4月1日

校長 栗原 利夫

生徒数 439名

教職員数 37名

住所

電話

開校記念日

教頭

学級数

HPアドレス <https://www.fureai-cloud.jp/monchu/>

宮代町宮代3-7-38

0480(32)0142

5月1日

渡邊 良文

14学級

【特色】「生徒自らが主役となり、誇りが持てる学校」自主・自立（偉）

○生徒が主役の学校

- ・生徒を学校の主役となり、活動の場を自ら創っていく学校
- ・生徒自らが、地域・保護者・教職員と絆で結ばれた学校づくり

○生徒が誇りを持てる学校

- ・79年の歴史と伝統を生徒が自覚し、地域・保護者に愛される学校づくり
- ・生徒自ら、自分の学校の「良さ」を誇りにできる学校

【学校教育目標】

- | | | |
|------------|------------------------------|-----|
| ○進んで学習する生徒 | ・自ら課題をもち、意欲的に学ぶ生徒 | 知 力 |
| ○仲よく助けあう生徒 | ・笑顔で心豊かに認め合い、協調し、責任や役割を果たす生徒 | 徳 力 |
| ○心身を鍛える生徒 | ・生活習慣・健康・体力を備え、誇れる生き方を追求する生徒 | 体 力 |

【今年度の重点・努力点】

- (1) 目指す学校像 「逞しく優しい生徒が育つ『生き方』が身につく学校」
～ 人と人の中に入れる「人間力」のある生徒の育成 ～
- (2) 百間中学校のモットー 「感じて、考え、行動できる生徒」の育成
「気づき、考え、実践する生徒」の育成
実践目標 合い言葉 「はあと」
『は』…話は目で聴く体で聴く 『あ』…あいさつはいつでもどこでも自分から
『と』…時を守る
- (3) 7つの重点・努力点



シンボルツリー ゆずり葉

① 「生き方教育」の核となる道徳教育の推進充実

「百間中学校モットー」の実践化 生徒会活動の充実／「考え議論する道徳科」の充実と発展／心情主義を脱却した「生き方」を語り合いたくなる道徳科の授業／教師も生徒も学びたくなる道徳科の「様々な指導方法の工夫」／道徳的実践と道徳科の高まり合い／自己存在感が感じられ、人間的な触れ合いがある温かい集団作り／「不登校・いじめ」のない、心豊かな意欲あふれる学校・学年・学級づくりの推進 教育重点項目の設定「思いやり・感謝」「相互理解・寛容」／JRC活動の充実／「ゆずり葉の心」の教育

② 生き方教育を基盤とした「深い学び」が体感できる授業による学力向上

自ら課題を持ち、主体的に学びに向かう授業の充実／「主体的・対話的で、深い学び」が体感できる授業実践の充実／「深い学び」を体感するために「思考力」「判断力」がスパイラルに響き合う授業を展開し、最終的に「表現力」を身につける授業／「主体的・対話的で、深い学び」実現のための「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」による授業改善／ICTタブレット端末等の有効活用／家庭学習の研究と充実／求められている学力観の熟知と活用／百間中学校区、小中連携を図った授業実践の研究と充実

③ 将来を支える体力向上の推進

生徒が自主・自立（偉）できる体育祭を、保健体育科教員を核に全教職員で運営／健康教育の充実／保健体育科授業、体育的諸活動、スキー等学校行事の意図的指導と実践／校医、学校歯科医との連携による健康教育の推進／自ら課題を持ち、保健体育科の授業と運動部活動

④ きめ細やかで、積極的な生徒指導・教育相談体制の充実

生徒の「良さ」を認め、自己肯定感を高める指導の工夫／理解させ、納得させ、生徒を愛する生徒指導の充実／発達障害を理解し、教育相談的な指導の研究と推進／迷ったら家庭連絡・家庭訪問、「良いこと」も家庭連絡／消極的な指導後の生徒への声かけと、保護者への家庭連絡／「生徒指導」「教育相談」「百間中いじめ防止基本方針」等各種計画に基づく計画的な対応の充実

⑤ 保護者・地域を大切にし、保護者・地域から愛される学校

百間中学校区、各種団体や関係機関との連携／学校運営協議会からの学校づくり／迷ったら家庭連絡・家庭訪問、「良いこと」も家庭連絡（再掲）／HP、学校更り等の積極的発信／花いっぱい緑いっぱい学校／地域へ向けての積極的参加

⑥ 子どものため、仲間のため「チーム百間中学校」の確立

子どものため、教師の持ち味を生かした組織対応／仲間のため、お互いを支え合う「チーム百間中学校」／教師力向上のため「チーム百間中学校」／ボトムアップの重視

⑦ 挨拶ができ、進んで清掃し、歌声響く学校づくり

心をこめて、相手に伝わる挨拶（教師がプラス一言、生徒は地域でもあいさつ）／役割以上の清掃活動／校歌の歌声響き、校歌を誇りにできる学校／生徒が自主・自立（偉）できる合唱祭を、音楽科教員を核に全教職員で運営

【令和7年度の研修課題】

「自ら課題を持ち、主体的な学びに向かう生徒の育成」

～個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る授業改善～（1年次）

生徒自身が自らの学習状況を把握し、主体的に学習を調整する力を高めるために、生徒一人一人の特性や学習進度に応じて指導方法の工夫改善を図る。





前原中学校

創 立 昭和58年4月1日
校 長 石崎 徳幸
児 童 数 139名
教職員数 27名

住 所
電 話
開校記念日
教 頭
学 級 数
HPアドレス

宮代町字中 461 番地
0480(34)0631
6月5日
柿沼 千鶴子
7学級

<https://www.fureai-cloud.jp/maechu/>

【学校教育目標】

『自主・敬愛』

- 深く考え 互いに高め合う生徒
- 思いやりの心を持ち 誠実に生きる生徒
- 明るく たくましく やりぬく生徒

【特 色】

- (1) 自主・敬愛の精神（前中プライド）を胸に、「美しく生きる」前原中を創造します。

【前中プライド】

	自 主	敬 愛
授 業	・自分の考えを自分の言葉で発表します ・分からないことを分からないままにしません	・友達の考えを尊重し ともに学び合います ・学習の場を大切にします
生 活	・あいさつは目と声で心を伝えます ・自分の役割を考え 進んで行動します	・感謝の気持ちを持って行動します ・仲間を大切にし いじめは絶対にしません

- (2) 美しい自然の中で、生徒一人一人の「よさ」や「可能性」を見出し、伸ばす教育を推進します。



美しい自然（※）に囲まれた環境の中で、「教えるべきこと教え、育むべきことは育む」ことで、生徒の力を伸ばしていきます。

※『八重桜』を校花としています。『八重桜』の花言葉は、「豊かな教養」と「善良な教育」、前中生には、「教養ある心豊かな人間」になっしてほしいと願い、教育活動を行っています。

【今年度の重点・努力点】

◎ワークライフバランスを意識した、働き方改革

- 1) 確かな学力の育成・・・基礎基本の定着と発展課題への取組、ICTの効果的な活用
- 2) 生徒指導の充実・・・「対話」を重視した積極的な生徒指導、家庭・地域・関係機関との連携
- 3) 不登校対策の充実・・・教育相談活動の充実、相談室や専門機関との連携による組織的な取組
- 4) 心の教育の充実・・・体験活動の充実、「自己決定」の機会の設定、「自主敬愛賞」の推進
- 5) 小中一貫教育の推進・・・生徒児童及び教員の交流活動の推進、教科領域の連携、小学校への出前授業
- 6) 家庭・地域との連携・・・積極的な情報発信、組織的・計画的な地域連携の推進 地域活動への参加

【令和7年度の研修課題】

『 学ぶ力を高め、主体的・協働的に学び合える生徒の育成（3年目）

～個別最適な学びの実現を目指して～ 』

質の高い学習活動で「前中授業スタイル」を充実させ、未来につながる「学び」を目指しています。



【団対抗体育祭・結団式の様子】



【学校行事に向けた特別活動・学級会】



【タブレット端末を活用した授業】

(2) 教育施設

教育支援センター

所 在 宮代町中央 3-6-11
開 設 令和 4 年 4 月 1 日
電 話 0480 (53) 3727



□施設規模 延べ床 339 m²

□受 付 9:00～16:30

□設置目的

様々な事情から学校に通えていない又は、通いに
くい小・中学生の支援

幼児・児童・生徒・学生・保護者の教育上の悩み、
いじめ、進路、就学等の教育相談

□施設概要

適応指導教室（個別学習スペース、集団学習ス
ペース、リラックススペース）

教育相談室

(3) 生涯学習施設

和戸公民館

所 在 宮代町和戸 2-5-1
開 設 昭和 41 年 7 月 1 日



□施設規模 敷地 889.19 m²／延べ床 436.7 m²

□開 館 9:00～21:00

□休館日 月曜日、年末年始（12/29～1/3）

□施設概要、活動

和室（1階／定員 40 人）	和裁、勉強会など
洋室大（2階／定員 70 人）	ダンス、卓球など
洋室小（1階／定員 10 人）	演奏練習など

百間公民館

所 在 宮代町百間 5-1-29
開 設 昭和 44 年 11 月 1 日



□施設規模 敷地 502 m²／延べ床 431 m²

□開 館 9:00～21:00

□休館日 月曜日、年末年始（12/29～1/3）

□施設概要、活動

和室（2階／定員 50 人）	和裁、勉強会など
洋室大（1階／定員 40 人）	ダンスなど
洋室小（2階／定員 20 人）	演奏練習など

川端公民館

所 在 宮代町字川端 578

開 設 昭和 47 年 7 月 1 日



□施設規模 敷地 1,085.3 m²／延べ床 356.08 m²

□開 館 9:00～21:00

□休館日 月曜日、年末年始（12/29～1/3）

□施設概要、活動

和室 （2 階／定員 40 人） 和裁、勉強会など
洋室大（1 階／定員 40 人） ダンス、卓球など
洋室小（2 階／定員 20 人） ピアノ練習など

宮代町立図書館

所 在 宮代町字百間 1139

開 設 平成 6 年 1 月 23 日

電 話 0480(34)9944



□施設規模 敷地 7,163 m²／延べ床 2,817.6 m²

□開 館 平日 9:30～19:00

土日祝日 9:30～18:00

□休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日直後の平日、年末年始（12/28～1/4）、館内整理日

□施設概要、活動

蔵書数 図書約 27 万冊、雑誌約 8 千冊、
A V 約 8 千点

ホール （定員 100～130 人）コンサート、
講演会など

研修室 （定員 30 人）講座、会議など

展示ホール 書道展、絵画展など

□指定管理者 ㈱図書館流通センター

(4) 郷土資料館・西原自然の森

宮代町郷土資料館・西原自然の森

所 在 宮代町字西原 289

開 設 平成 5 年 11 月 13 日

電 話 0480(34)8882



□施設規模 【郷土資料館】敷地 5,757 m²／
延べ床 1,186.2 m²

【西原自然の森】敷地 8,389.23 m²

□開 館 9:30～16:30

□休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日直後の平日、年末年始（12/28～1/4）、館内整理日

□施設概要、活動

常設展示室、特別展示室兼ホール、屋外展示物（町指定文化財 旧加藤家住宅、町指定文化財 旧齊藤家住宅、町指定文化財 進修館、縄文時代復元住居）、西原自然の森

常設展示として、「恵まれた風土と人々の文化の創造ー水と緑に生きるー」をメインテーマに掲げ、旧石器時代から現代まで宮代町 2 万年の歴史と文化を 5 つのコーナーに分けて展示。また「郷土の偉人 英文学者・島村盛助」コーナーも設置。常設展示や多数の野外展示物を含め、資料館の敷地全体が郷土・宮代の歴史を体感できることが大きな特徴となっている。

西原自然の森は、敷地全体が縄文時代早期から前期を中心とした大規模な遺跡で、当時の住居跡十数軒が発掘されている。

(5) スポーツ施設

宮代町総合運動公園

所 在 宮代町大字和戸 1834

開 設 昭和 63 年 11 月 1 日

電 話 0480(32)1543



□施設規模 敷地 109,125.75 m²／

延べ床 6,179.285 m²

□開 館 体育館 平日・土曜日 9:00～21:00

日曜・祝日 9:00～18:00

プール 平日・土曜日 9:00～20:00

日曜・祝日 9:00～17:00

屋外施設 9:00～

(終了時間は月により変動有)

□休館日 毎週月曜日 (ただし、7 月、8 月、祝日を除く)、年末年始 (12/28～1/4)

□施設概要、活動

屋内

室内プール

アリーナ (メイン・サブ)、トレーニング室、
剣道場、弓道場、柔道場、会議室、研修室

屋外

多目的広場、野球場、ソフトボール場、

テニスコート (ナイター有)

□指定管理者 ミズノグループ

前原グラウンド

所 在 宮代町字中 455-1

開 設 昭和 59 年 6 月



□施設規模 敷地 4,302.48 m²

□利用時間 8:00～18:00

□施設概要、活動

ソフトボール、少年野球などで利用

東条原グラウンド

所 在 宮代町大字東条原 363-1
開 設 不明



- 施設規模 敷地 6,284 m²
- 利用時間 8:00~18:00
- 施設概要、活動
ソフトボール、少年野球などで利用

宮東グラウンド

所 在 宮代町字川端 731-1
開 設 平成 5 年 12 月 1 日



- 施設規模 敷地 5,672 m²
- 利用時間 8:00~18:00
- 施設概要、活動
ソフトボール、少年野球、グラウンドゴルフ、
ゲートボールなどで利用

東グラウンド

所 在 宮代町字東 265-1
開 設 昭和 59 年 3 月



- 施設規模 敷地 12,395.45 m²
- 利用時間 8:00~18:00
- 施設概要、活動
グラウンドゴルフ、ソフトボール、少年サッカー、
少年野球などで利用

宮東テニスコート

所 在 宮代町字宮東 863

開 設 昭和 55 年 9 月



□施設規模 敷地 2,995.67 m²

□利用時間 8:00~18:00

□施設概要、活動

硬式テニス、ソフトテニスで利用

山崎アーチェリー場

所 在 宮代町字山崎 13-1

開 設 平成 9 年 8 月 29 日



□施設規模 敷地 1,944 m²

□施設概要、活動

平成 16 年彩の国まごころ国体アーチェリー競技開催にあたり、練習場として旧勤労者体育センターの敷地内に開設

同センターの機能移転により、平成 25 年 4 月 1 日にアーチェリー場のみ分離

18m~50m と近射練習が可能

学校開放指定体育施設

開放する学校	開放する体育施設	開 放 す る 日	時 間
須賀小学校	校庭運動場	土曜日・日曜日・休日	8:00～18:00
	体育館	平日	18:00～21:00
		土曜日・日曜日・休日	8:00～21:00
百間小学校	校庭運動場	土曜日・日曜日・休日	8:00～18:00
	体育館	平日	18:00～21:00
		土曜日・日曜日・休日	8:00～21:00
東小学校	体育館	平日	18:00～21:00
		土曜日・日曜日・休日	8:00～21:00
笠原小学校	校庭運動場	土曜日・日曜日・休日	8:00～18:00
	体育館	平日	18:00～21:00
		土曜日・日曜日・休日	8:00～21:00
	集会室	平日	19:00～21:00
		土曜日・日曜日・休日	8:00～21:00
須賀中学校	体育館	全日	19:00～21:00
百間中学校	体育館	全日	19:00～21:00
前原中学校	体育館	全日	19:00～21:00
	校庭運動場（昼間）	土曜日・日曜日・休日	8:00～18:00
	校庭運動場（夜間照明）	全日	19:00～21:00

（６）学校給食センター

学校給食センター

所 在 宮代町字金原 524-2
開 設 平成 2 年 3 月 31 日
電 話 0480(32)5711



〔献立例〕・ご飯 ・牛乳

- ・鶏のから揚げオイスター風味
- ・中華わかめスープ
- ・春雨の 5 色炒め

□施設規模 敷地 4,839 m² / 延べ床 1,430 m²

□開 館 ー

□休館日 土日祝日、小中学校休業日

□施設概要、活動

学校給食調理、配送業務

調理食数 H28 429,754 食

H29 433,183 食

H30 427,035 食

R 1 396,815 食

R 2 402,201 食

R 3 430,892 食

R 4 437,558 食

R 5 443,984 食

R 6 448,616 食

※新型コロナウイルス感染症の影響に

伴う臨時休校（R2.3～5 月）により

R1 及び R2 の食数は減少

8 学 校 給 食 ～「こころとからだを作る学校給食」

(1) 給食年間計画

	給 食 目 標	外国料理	郷土料理	行 事 食
4 月	給食のきまりを守り楽しい給食にしよう	－	広島県	入学・進級祝い 御影供
5 月	正しいマナーで食事をしよう	ハワイ	大阪府	こどもの日
6 月	よくかんで食事をしよう	スペイン	兵庫県	歯と口の健康週間
7 月	衛生に気を付けて食事をしよう	オーストラリア	沖縄県	七夕 セレクト給食
9 月	責任をもって手早く当番の仕事をしてしよう	カンボジア	東京都	お月見 夏バテ防止
10 月	好き嫌いなく何でも食べよう	カナダ	福岡県	体力 UP 目の愛護デー ハロウィン
11 月	安全に気をつけて食缶・食器類を大切に扱おう	ブラジル	埼玉県	彩の国学校給食月間 和食の日
12 月	食べ物の栄養について知り バランスよく食べよう	ドイツ	群馬県	冬至 クリスマス セレクト給食
1 月	感謝の気持ちをこめて食事をしよう	中国	埼玉県	全国学校給食週間 鏡開き 昔の給食 小正月/七草
2 月	いろいろな食べ物を知り、風邪に負けない食事をしよう	イタリア	栃木県	節分 バレンタイン 初午 受験生応援
3 月	1年間の食事を振り返ろう	ペルー	新潟県	桃の節句 卒業祝い

(2) 宮代町の学校給食の特長

その1 栄養バランスのとれた献立作り

- ・ 栄養摂取基準に基づいて家庭で不足しがちな栄養素を補う。
- ・ 主食、牛乳、汁物、主菜、副菜（一汁二菜）の組み合わせ



その2 多様な食事内容

多くの食品を取り入れて食の経験を豊かにし、偏食にならないようにし、食べず嫌いを直す)

- ① 旬の地場産物を利用し、各県の郷土料理を毎月実施。
- ② 家庭で失われつつある行事食の実施や、国際理解から異文化を知る外国料理を毎月実施。
- ③ 家庭との連携（我が家の自慢献立）、児童・生徒の（リクエスト献立）を実施。

その3 衛生的で安全な給食

- ・ 日々の作業における衛生意識の徹底（危機管理意識）。
- ・ 委託先検査室と連携した衛生検査（ふき取り検査、食材検査等）
- ・ 食材検査（病原性大腸菌 0-157）



その4 調理技術（ひと手間かける）

- ・ だしの取り方の工夫や、手作りソース等を工夫している。
- ・ こだわりを持って調理する（愛情エッセンス）

その5 地場農産物（野菜、米等）を活用した給食（新しい村との連携）

- ・ 地元でとれた旬の野菜を沢山使用、美味しい野菜の味を知り、野菜が好きな子になる。
- ・ 献立表や毎日の放送用資料で地場農産物を知らせる事で、「生産者の方々への感謝の気持ち」や「残さず食べようとする意欲」を育む。



その6 アレルギーに対応した給食（除去食・代替食の実施）

医師の診断書、申請書の提出によりアレルギー対応の除去食、代替食の実施

その7 強化磁器食器の給食 岐阜県美濃焼の特別注文食器（巨峰の絵柄）

その8 学校・家庭との連携

- ・ 栄養指導の実施（小学校1年生から中学校2年生）
- ・ 「盛り付け表」「給食だより」「献立表」「食育だより」などを通して「食」への関心を高める
- ・ 各種調査の実施、調査結果の活用
- ・ 栄養調査（隔年6月、11月に実施）」など
- ・ 「予定献立表」「給食だより いただきます」（毎月発行）
- ・ 就学時健診、学校保健委員会

9 生涯学習

※開催日は5月末の計画時点のものです。

新型コロナウイルスの感染拡大防止により変更となる場合があります。

(1) 講座・教室

みやしろ大学

期日 令和7年9月～2月（全5回予定）
会場 進修館大ホール
対象 町内在住の60歳以上
内容 シニア世代のいきがいくりのための講座



みやしろ芸術祭



期日 令和7年11月
会場 進修館大ホールほか
対象 町内在住・在勤・在学者ほか
内容 舞台発表
演奏会
作品展示 など

二十歳のつどい

期日 令和8年1月11日(日)
会場 東武動物公園イベントステージ
HOLA!(オーラ)
対象 H17.4.2～H18.4.1生まれ
内容 実行委員会による企画運営
式典、アトラクション、記念写真撮影



《青少年健全育成》

家庭教育学級



期日 令和7年10月～
会場 未定
対象 小学生の保護者
内容 子供の心と身体の成長に対する親の向き合い方など

子ども大学みやしろ

期日 令和7年9月～11月の土・日・祝日
(全5回予定)

会場 日本工業大学 ほか

対象 小学4～6年生

内容 地元大学等との連携により、子供の知的
好奇心を刺激する講義や体験活動等
を実施



新みやしろ郷土かるた大会



期日 令和7年8月2日(土)

会場 進修館大ホール

対象 小学生

内容 「新みやしろ郷土かるた」を使用し、宮代町の歴史や文化を知り、郷土愛を培うことを目的に開催

彩の国 21 世紀郷土かるた大会



期日 令和8年1月

会場 進修館大ホール

対象 小学生

内容 埼玉県歴史や文化を知り、郷土愛を培うことを目的に開催

《人権教育》

人権講座

期日 令和7年8月
会場 町立図書館ホール
対象 町教職員
内容 「人権といじめについて考えよう」(仮)

人権問題合同研修会

期日 令和8年1月
会場 進修館
対象 町職員、町内小中学校管理職及び人権教育主任、宮代町人権教育推進協議会委員、町内に事務所を置く6士業、町指定管理事業者等
内容 女性、高齢者、子ども、障がい者、同和問題等の人権問題に対する正しい理解と認識を図るため開催

(2) 文化財・郷土史

夏休み体験学習教室

『郷土資料館へ行こう!』

期日 令和7年7～8月
会場 郷土資料館 会議室兼資料取扱室
対象 小・中学生
内容 まが玉づくり、縄文ペンダントづくり、しぼり染めハンカチづくり、組みひもブレスレットづくり、あじろあみのコースターづくり



かやぶき民家で聞く昔話



期日 令和7年8月2日(土)
会場 町指定文化財 旧加藤家住宅
対象 一般
内容 旧加藤家を利用し、昔話を聞きます

郷土資料館年間予定

月	行 事 名	
4 月	■企画展「発掘された地蔵院遺跡～テーマで探る人々の姿」	～7 月 6 日
5 月		
6 月	町指定文化財 旧進修館 特別公開	15 日
7 月	■企画展「宮代町 70 年のあゆみ」 ■夏休み体験学習教室「郷土資料館へ行こう！」	7 月 12 日～10 月 19 日 7 月 23・24・25・30 日、 8 月 1・6・7・8 日
8 月	■かやぶき民家で聞く昔話 ■移築民家と「アタラシイ」ゲキ 20	8 月 2 日 8 月 11 日
9 月	■収蔵庫 くん蒸休館	9 月 30 日～10 月 3 日
10 月	■ひとりがたり「村の寶」 ■特別展「笠原沼の造成と開発(仮題)」	(未定) 10 月 25 日～12 月 21 日
11 月	西原自然の森フェスタ 2025	(未定)
12 月		
1 月	■東部地区文化財担当者会 40 周年記念リレー展示 「埼玉県東部地区の奈良時代・平安時代」	1 月 6 日～3 月 1 日
2 月		
3 月	■企画展「社寺札に見る信仰(仮題)」	3 月 7 日～7 月

(3) スポーツ振興

町民スポーツフェスティバル

期日 令和7年10月12日(日)

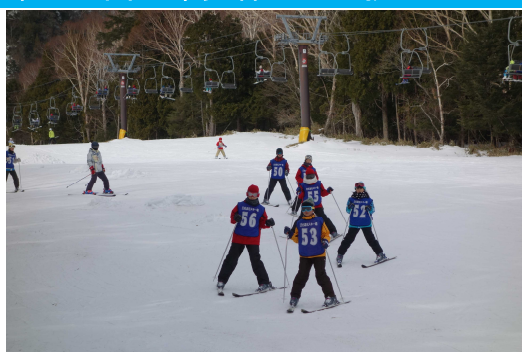
会場 宮代町総合運動公園

対象 町民

内容 子どもから高齢者、障がいの有無にかかわらず、町民の誰もが自由に参加できる、スポーツを楽しむイベント形式を予定しています。
令和7年度は町制施行70周年を記念しての開催とします。



第51回 年少者スキー教室



期日 令和8年1月または2月の2日間

会場 未定

対象 小学5・6年生

内容 雪遊びの中からスキーに親しみ、スキーの楽しさや自然とのふれあいを感じるとともに集団生活を通じて協調性を養うことを目的に開催する

町民スポーツ大会

種 目	対 象	開 催 期 間	会 場
ソフトボール	高校生以上	9月～10月	総合運動公園
野球	町民	7月～9月	総合運動公園
卓球	中学生以上	11月	笠原小学校体育館
硬式テニス	町民	9月～10月	総合運動公園
剣道	小学生以上	6月	総合運動公園
サッカー	一般	12月	総合運動公園

あそびと運動

種 目	対 象	開 催 期 間	会 場
アーチェリー、モルック、サッカー等	小学生	年6回程度	総合運動公園他

大人のスポーツフィールド

種 目	対 象	開 催 期 間	会 場
さいかつぼーる体験等	小学4年生以上	4月～3月、 毎月1回、計年11回	総合運動公園他

資 料 編

I	宮代町教育のあゆみ	・ ・ ・ P34
II	歴代教育委員・教育委員長・教育長	・ ・ ・ P44
III	教育関係附属機関等	・ ・ ・ P45
IV	小中学校 児童生徒数・教職員数	・ ・ ・ P46
V	学校給食	・ ・ ・ P48
VI	指定文化財	・ ・ ・ P50
VII	頒布資料	・ ・ ・ P52
VIII	生涯学習施設利用統計	・ ・ ・ P62

I 宮代町教育のあゆみ

年 月			で き ご と
			【須賀小学校】
明治	6 年	5 月	大字西条原宝光寺を仮校舎とし西條学校とする。 教育史によると「東条原、西条原、須賀、国納の一部で明治6年大聖院に 設置」とある
明治	10	7	条原学校と改称する
明治	19	4	和戸学校と合併、条原学校と称する
明治	22	4	町村制の施行により須賀村立条原尋常小学校と称する
明治	35	4	須賀真蔵院の一部を分教場とする
大正	5	4	新校舎落成により分教場を廃し、高等科を併設。須賀尋常高等小学校と 改称する
大正	10	4	校旗、校歌制定（詞：巖谷小波 曲：田村虎蔵 編：中村武男）
昭和	4	2	増築校舎落成
昭和	16	4	須賀国民学校と改称する
昭和	22	4	6・3制実施により須賀小学校と改称する
			【百間小学校】
明治	6	5	西光院を校舎に充て開校する
明治	7	9	進修学校と称する
明治	8	3	宝生院を校舎に借用し移転する
明治	15	9	百間小学校と称する
明治	19	4	中島学校と合併、百間尋常小学校と改む
明治	43	3	百間尋常小学校新築校舎落成
明治	44	12	百間尋常小学校第1次増築校舎完成
大正	4	1	百間尋常小学校高等科設置
大正	6	3	第2次増築校舎落成
大正	15	1	第3次増築校舎落成
昭和	8	1	百間尋常小学校川島分教場許可を受く
昭和		4	分教場新築落成、木造瓦葺平屋
昭和	16	4	百間国民学校と改称する
昭和	22	4	6・3制実施により百間小学校と改称する
昭和	22	4	新学制6・3制実施により須賀村立須賀中学校、百間村立百間中学校設置 認可開校
	22	4	須賀中学校開校式
昭和	26	4	須賀中学校 木造2階建新校舎竣工
		44	百間中学校 新校舎落成し移転
昭和	27	11	地方教育委員会制度実施により百間村及び須賀村教育委員会発足
昭和	30	7	町村合併により須賀村、百間村が廃止され宮代町が設立されたことによ り、それぞれ宮代町立百間小学校、宮代町立須賀小学校、宮代町立百間 中学校、宮代町立須賀中学校となる
		11	百間小学校 川島分校木造二階建校舎新築落成
昭和	31	10	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、同施行令に基づく教育委員 任命行わる
昭和	32	2	須賀中学校 講堂落成
昭和	33	4	百間小学校 川島分校が独立し東小学校と改称
			東小学校 開校記念式典挙行
昭和	36	4	須賀小学校 P T A から中学校 P T A 独立
		8	百間中学校 体育館落成
昭和	40	3	東小学校 体育館落成
		12	須賀中学校 校歌制定（詞：神保光太郎 曲：諸井 三郎）
昭和	41	6	須賀公民館落成（後に、和戸公民館へ改称）
		8	須賀小学校 水泳プール竣工
			百間中学校 水泳プール竣工
昭和	42	11	東小学校 開校10周年記念式典、校歌制定

年 月			で き ご と
昭和 43 年	1 月		百間中学校 校歌、校旗制定（詞：宮沢章二 曲：岡本敏明）
	2		百間小学校 校歌制定（詞：宮沢章二 曲：岡本敏明）
	8		百間小学校 水泳プール竣工
昭和 44	10		百間公民館落成
昭和 45	2		百間小学校 体育館落成
昭和 46	3		東小学校 校歌制定（詞：長谷部雅楽 曲：丘 柴二 編：日向 雅男）
	3		須賀公民館落成
			川端公民館落成
昭和 47	11		東小学校 学校安全優良校文部大臣賞受賞
	3		西条原公民館落成
	7		宮代町社会教育指導員制度発足
昭和 48	9		須賀中学校 木造2階建校舎焼失
	2		宮代町体育協会発足
	3		須賀小学校 校旗制定
昭和 48			和戸第二公民館落成
	5		須賀中学校 鉄筋4階建校舎新築落成
	11		第1回町民体育祭開催
昭和 49			西原公民館完成
	1		須賀中学校 校旗制定
	4		須賀中学校 合唱クラブTBS全国放送優秀賞受賞
昭和 50	10		須賀中学校 こども銀行大蔵大臣賞受賞
	11		須賀中学校 県新聞コンクールにて優秀賞受賞
	4		宮代町ボーイスカウト発足
昭和 51	5		宮代町社会体育協力員制度発足
	8		東小学校 水泳プール竣工
	1		須賀中学校 こども銀行郵政大臣賞受賞
昭和 51	6		須賀中学校 こども銀行関東郵政局長賞受賞
	7		東小学校 通学用歩道橋完成
	8		西原グラウンド開設
昭和 53	11		東小学校 全国花いっぱいコンクール優良校受賞
	4		東小学校 分教場が設置され第4学年が学習する
	7		宮代町スポーツ少年団発足
昭和 54	4		宮代町文化協会発足
	9		須賀小学校 校内テレビ放送施設完成
	11		須賀小学校 交通安全団体功労賞受賞
昭和 55			第1回町民文化祭開催
	2		前原遺跡発掘調査実施（～56年3月31日）
	4		沖の山グラウンド開設
昭和 56	8		百間中学校 第11回中学校サッカー全国大会第3位
	9		宮東テニスコート開設
	12		百間小学校 校内TV放送施設設置
昭和 57	4		須賀小、東小の学区を分離し、笠原小学校を新設開校
	5		町営前原グラウンド開設
	8		笠原小学校 第1期工事校舎落成
昭和 58	3		笠原小学校 第2期工事校舎落成
	4		学校開放運営委員会発足
	5		須賀小、須賀中学校併設体育館落成
昭和 58	7		百間小学校 交通安全こども自転車大会第3位
			宮代町レクリエーション協会発足
	3		笠原小学校 体育館落成
昭和 58			前原遺跡発掘調査報告書刊行
	4		百間中学校と分離し、前原中学校を新設開校
	7		町営前原グラウンド 夜間照明施設設置
	12		前原中学校 校章制定

年 月			で き ご と
昭和	59 年	3 月	東グラウンド開設 笠原小学校 水泳プール竣工 山崎南・前原遺跡発掘調査報告書刊行
		6	前原グラウンド開設 宮代町子ども会育成連絡協議会発足
		7	「宮代町の教育」創刊
		8	前原中学校 水泳プール竣工
		11	宮代町学校給食審議会発足
昭和	60	3	百間中学校 体育館落成 前原中学校 校旗制定 「宮代町の板石塔婆」刊行 奨学金貸付制度発足
		8	須賀中学校 水泳プール竣工
		10	笠原小学校 昭和60年度日動火災教育賞受賞
		11	笠原小学校 第30回学研教育賞を受賞
		2	宮代町心身障害児就学指導委員会発足
昭和	61	3	笠原小学校 第1回理想教育財団教育助成校受賞 東小学校 体育館落成 山崎北遺跡発掘調査報告書刊行
		5	笠原小学校 校歌・校章制定（詞：宮沢章二 曲：平吉 穀州）
		6	前原中学校 校歌制定（詞：宮沢章二 曲：日向 雅男）
		7	「宮代教育だより」創刊
		11	須賀中学校 創立40周年記念式典
昭和	62	12	百間中学校 創立40周年記念式典
		1	宮代町教育相談室設置、教育相談事業開始
		2	須賀小学校 水泳プール竣工 百間小学校 体育館落成
		6	宮代町小・中学校児童生徒体力向上推進委員会発足 宮代町青少年健全育成推進委員会発足
		7	百間小学校 水泳プール竣工
昭和	63	8	宮代町公民館運営審議会発足
		10	東小学校 創立30周年記念式典
		3	「宮代町の絵馬」刊行
		6	「野草12か月」初教出版社より発行
		8	百間小学校 子ども音楽コンクール埼玉地区大会優良賞受賞 （TBS東京放送）
平成	元	9	須賀小学校 交通安全活動推進校表彰
		11	地蔵院遺跡発掘調査実施 縄文時代早期～中期集落跡 総合運動公園 多目的広場、ソフトボール場の供用開始
		3	「みやしろ風土記」刊行
		4	宮代町教育委員会表彰規定を制定
		6	総合運動公園 野球場、テニスコートの供用開始
平成	2	8	地蔵院遺跡発掘調査実施 縄文時代早期・前期及び古墳時代前期集落跡
		10	百間中学校 県民総合体育大会中学女子バレー第3位
		11	宮代町学校給食運営審議会発足
		11	百間中学校 埼玉県新人体育大会野球優勝
		1	須賀小学校 交通安全優良校受賞
平成	2	2	各小学校給食配膳室整備工事竣工
		3	宮代町学校給食研究委員会発足 宮代町立学校給食センター落成
		4	山崎山遺跡発掘調査報告書刊行
		4	宮代町立各小学校完全給食開始
		5	百間中学校 生徒総合体育大会野球優勝
平成	2	5	百間中学校 生徒総合体育大会女子バレー優勝
		6	宮代町スポーツ選手大会派遣費交付要綱制定

年 月			で き ご と
平成 2 年	7 月		宮代町史編集委員会発足 山崎山遺跡発掘調査実施 縄文時代後期、古墳時代前期、4世紀後半鍛冶工房跡は埼玉県最古
	8		須賀中学校 NHK全国学校音楽コンクール埼玉県コンクール中学の部銅賞受賞 8 月 百間中学校 関東中学校軟式野球大会出場 百間中学校 関東中学校女子バレー大会出場
	11		宮代勤労者体育センターオープン 笠原小学校 創立10周年記念式典 須賀中学校 毎日カップ中学校スポーツテスト優秀校 第1回埼玉芸術文化祭コレクション90インみやしろ
平成 3	3		宮代町史資料第1集「地誌Ⅰ」刊行 宮代町学校教育の記録「清流」創刊 宮代町小中学校児童・生徒体力向上推進委員会記録「体力向上」創刊
	7		須賀中学校 埼玉県小中学校校内放送コンテスト埼玉新聞社賞受賞
	8		百間中学校 女子バレーボール部関東大会出場 須賀中学校 合唱部NHK合唱コンクール銅賞受賞
	11		東小学校 「健康推進学校」埼玉県代表 第2回埼玉芸術文化祭コレクション91インみやしろ
	3		宮代町史資料 第2集「戸田家文書」刊行 小学校3年社会科副読本改訂版刊行
平成 4	8		第1回自然体験活動事業（フロンティアアドベンチャー）
	10		百間中学校 コンピューター教室竣工 前原中学校 コンピューター教室竣工
	11		須賀中学校 コンピューター教室竣工 第3回埼玉芸術文化祭コレクション92インみやしろ
	3		前原中学校 創立10周年記念式典 宮代町史資料第3集「俳諧Ⅰ」刊行 宮代町史資料第4集「社寺総合調査Ⅰ」刊行
	4		宮代町立各中学校完全給食開始
平成 5	10		宮代町体育協会が文部大臣表彰を受賞 旧加藤家住居移築工事竣工
	11		宮代町郷土資料館開館
	12		宮東グラウンド開設
	1		町立図書館開館
	3		宮代町史資料第5集「岩崎家文書」刊行 宮代町史資料第6集「みやしろの信仰と年中行事」刊行
平成 6	4		総合運動公園 管理棟、体育館棟の供用開始
	3		宮代町史資料第7集「宮代の遺跡」刊行 宮代町史資料第8集「社寺総合調査報告書Ⅱ」刊行
	6		町立図書館 自分史講座文集95「道標」刊行 総合運動公園 室内プールオープン
	7		町立図書館 巡回サービス開始 町立図書館 リサイクルコーナー開設
	11		みやしろ郷土かるた出版
平成 7	1		宮代町立小・中学校、公民館耐震診断
	3		町立図書館自分史講座文集‘96「道標」刊行 百間中学校 水泳プール竣工
	4		小学校給食費改定 町立図書館 移動図書館巡回開始
	7		町立図書館 東部中央都市図書館広域利用開始
	10		町立図書館 須賀小学校団体貸出開始
平成 8	11		東小学校 全日本健康推進学校「すこやか奨励賞」受賞 百間中学校 創立50周年記念式典 須賀中学校 創立51周年記念式典
	3		宮代町史資料第9集「祈りの札」刊行 宮代町史資料第10集「俳諧Ⅱ」刊行
	8		須賀小学校、百間小学校、百間中学校耐震補強工事竣工 宮代町史資料第11集「社寺総合調査Ⅲ」刊行 宮代町史資料第12集「新井家文書」刊行

年 月			で き ご と
平成	9 年	10 月	学校給食に宮代産コシヒカリを使用開始 須賀中学校 耐震補強工事竣工 町立図書館 百間小学校団体貸出し開始 東小学校 耐震補強工事竣工
		11	町立図書館 埼玉県教委「優良教育施設表彰」受賞
平成	10	3	宮代町史資料第13集「俳諧Ⅲ」刊行 宮代町史資料第14集「東条原の獅子舞」刊行 郷土資料館 「常設展示解説図録」刊行 文化財調査報告書第6集「逆井遺跡・山崎山遺跡」刊行
		6	町立図書館 田園都市づくり協議会広域利用開始 町立図書館 埼玉県公共図書館協議会「優良活動表彰」受賞
		10	宮代スノーバムスキークラブが文部大臣表彰を受賞 第59回国民体育大会宮代町準備委員会設立
		11	小学校4校に教育用パソコン各16台を導入
平成	11	3	宮代町史資料第15集「社寺総合調査Ⅳ」刊行 宮代町史資料第16集「新聞資料」刊行 文化財調査報告書第7集「中遺跡・星谷遺跡」刊行
		9	給食用食器をポリカーボネート製から強化磁器製に変更
平成	12	3	川端公民館 耐震補強工事竣工 総合運動公園 ソフトボール場整備工事竣工
		4	国体準備室を設置
		8	埼玉県学校給食調理コンクール自由献立部門において第3位、 埼玉県学校栄養士研究会会長賞受賞
平成	13	3	百間公民館・和戸公民館 耐震補強工事竣工 文化財調査報告書第8集「藤曾根遺跡・中寺遺跡」刊行 文化財調査報告書第9集「宮代町の中世遺物」刊行
		4	学校評議員を設置
		7	彩の国まごころ国体開催決定 笠原小学校 交通安全子供自転車埼玉県大会優勝
		8	笠原小学校 交通安全子供自転車全国大会出場 彩の国まごころ国体宮代町実行委員会設立 新しい村オープン、学校給食に宮代産野菜を使用開始
平成	14	2	みやしろ風土記（増補版）刊行
		3	文化財調査報告書第10集「山崎南遺跡・道仏遺跡」刊行 宮代町史「通史編」刊行
		4	国体準備室を国体推進室に改める 学校給食に「世界の料理」を取り入れ
		7	笠原小学校 交通安全子供自転車大会埼玉大会優勝
		8	笠原小学校 交通安全子供自転車全国大会出場
平成	15	3	文化財調査報告書第11集「国納丸屋遺跡・中寺遺跡・伝承旗本服部氏屋敷跡遺跡」刊行 文化財調査報告書第12集「東条原村岡安家文書」刊行 宮代町史「民俗編」刊行
		4	小・中学校自由選択制の実施 小・中学校一貫教育の実施（モデル校須賀小・中学校）
		5	彩の国まごころ国体リハーサル大会
		7	笠原小学校 交通安全子供自転車埼玉県大会優勝
		8	笠原小学校 交通安全子供自転車全国大会第13位 町立図書館 ブックスタート開始
平成	16	3	水と緑のみやしろ～宮代町史ビジュアル版～刊行
		4	キッズ I S Oプログラムへの取組を開始 小・中学校7校に安全監視員配置 小・中学校に35人学級（小1・小2・中1）導入、非常勤講師配置
		7	笠原小学校 交通安全子供自転車埼玉県大会準優勝
		9	須賀中学校 合唱部関東大会金賞
		10	第59回国民体育大会（彩の国まごころ国体）アーチェリー競技会 須賀中学校 合唱部全国大会銅賞

年 月			で き ご と
平成 17 年	1 月		キッズ I S O 国際認定証授与式において 3 名が埼玉県知事賞ほかの特別賞を受賞
	2		キッズ・エコサミット宮代2005を開催
	4		学校給食でアレルギー対応開始
	7		笠原小学校 埼玉県自転車大会優勝
	8		笠原小学校 全国子ども自転車大会14位
	9		平成20年度全国高校総体アーチェリー会場地に決定
平成 18	1		須賀小・中学校一貫教育研究発表会開催 キッズ I S O 国際認定証授与式において 4 名が埼玉県知事賞ほかの特別賞を受賞
	2		キッズ・エコサミット宮代2006を開催
	7		笠原小学校 埼玉県自転車大会優勝
	8		笠原小学校 全国子ども自転車大会 4 位
	11		埼玉県学校給食調理コンクール自由献立部門において第3位、埼玉県学校栄養士研究会会長賞受賞
平成 19	1		キッズ I S O 国際認定証授与式において 2 名が埼玉県知事賞ほかの特別賞を受賞
	2		キッズ・エコサミット宮代2007を開催
	4		公民館利用有料化 勤労者体育センターをいきがい活動センターに改称 いきがい活動センターに指定管理者制度導入
	5		平成20年度全国高等学校総合運動体育大会宮代町実行委員会設立
	11		埼玉県学校給食調理コンクール自由献立部門において第4位、埼玉県学校給食牛乳協議会会長賞受賞
平成 20	1		キッズ I S O 国際認定証授与式において 6 名が埼玉県知事賞ほかの特別賞を受賞
	2		キッズ・エコサミット宮代2008を開催
	4		総合運動公園に指定管理者制度導入
	7		平成20年度全国高等学校総合体育大会（彩夏到来08埼玉総体）アーチェリー競技大会
	11		埼玉県学校給食調理コンクール自由献立部門において第1位、埼玉県教育委員会教育長賞受賞
平成 21	1		キッズ I S O 国際認定証授与式において 3 名が埼玉県知事賞ほかの特別賞を受賞
	2		キッズ・エコサミット宮代2009を開催
	3		文化財調査報告書第13集「地蔵院遺跡・東条原宿屋敷遺跡・藤曾根遺跡・山崎山遺跡」刊行
	4		小学校・中学校給食費改定 町立図書館 文部科学大臣表彰「子ども読書活動優秀実践図書館表彰」
	7		埼玉国際ジュニアサッカー大会2009参加 バーレーン王国との交流事業の実施
	10		全国生涯学習フェスティバル「まなびピア埼玉2009」参加
	11		埼玉県学校給食調理コンクール自由献立部門において第1位、埼玉県教育委員会教育長賞受賞
平成 22	1		キッズ I S O 国際認定証授与式において 6 名が国連大学学長賞ほかの特別賞を受賞
	2		文化財調査報告書第14集「伝承旗本服部氏屋敷跡遺跡」刊行 キッズ・エコサミット宮代2010を開催

年 月			で き ご と
平成 22 年	3 月		須賀小学校 2009地球にやさしい作文・活動コンテスト「学校賞」受賞 郷土資料館常設展示室に「郷土の偉人・島村盛助」コーナーを開設 全小中学校に地上波デジタル放送対応テレビ・共聴設備等を導入（50インチテレビ130台ほか） 全小中学校に校内LANを整備
	11		文化財調査報告書第15集「山崎遺跡・山崎山遺跡」刊行 笠原小学校 開校30周年記念式典 埼玉県学校給食調理コンクール自由献立部門において第1位、 埼玉県教育委員会教育長賞受賞 前原中学校 国立教育政策研究所研究委嘱・宮代町教育委員会 研究委嘱研究発表会「確かな学力向上を図る指導の工夫」 ～教科の特性に応じた指導と評価の工夫～
平成 22	12		百間中学校 教育に関する3つの達成目標東部地区研究委嘱校発表 文化財調査報告書第16集「金原遺跡群～縄文時代以降編～」刊行
平成 23	1		キッズISO国際認定証授与式において4名が埼玉県知事賞 ほかの特別賞を受賞
	2		キッズ・エコサミット宮代2011を開催
	3		須賀小学校 埼玉県道徳研究協力校郷土開発資料「どんぐりピアノ」授業 公開 笠原小学校 2010地球にやさしい作文・活動コンテスト「学校賞」受賞 文化財調査報告書第17集「身代遺跡・地藏院遺跡・宿源太山遺跡・山崎 山遺跡」刊行
	4		宮代町立図書館に指定管理者制度導入
	9		宮代町総合運動公園テニスコート改修工事（人工芝化・照明設備設置）
	10		子ども大学みやしろ開校
平成 24	1		キッズ・エコサミット宮代2012を開催
	2		キッズISO国際認定証授与式において1名がソニー賞受賞
	3		宮代町文化財調査報告書第18集「山崎遺跡」刊行
	9		第1回宮代町図書館を使った調べる学習コンクールを開催
	10		前原中学校 開校30周年記念式典 百間小学校 埼玉県道徳研究会研究発表
	12		宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会設置
平成 25	1		第16回図書館を使った調べる学習コンクール（図書館振興財団主催） において奨励賞、佳作に入選
	2		キッズISO国際認定証授与式において4名が特別賞受賞
	3		いきがい活動センター機能転換により供用終了 アーチェリー練習場を「山崎アーチェリー場」に改称 市民大学みやしろ パイロット講座を開催 宮代町文化財調査報告書第19集「金原遺跡―旧石器時代編―」刊行 宮代町文化財調査報告書第20集「道仏北遺跡・道仏上遺跡」刊行
	6		宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会へ諮 問
平成 26	2		キッズISO国際認定証授与式において8名が文部科学大臣賞ほかの特 別賞を受賞
	3		宮代町文化財調査報告書第21集 「須賀遺跡・姫宮神社遺跡・山崎南遺跡・伝承旗本 服部氏屋敷跡遺跡・新山 遺跡・西光院遺跡・星谷遺跡」刊行 宮代町文化財調査報告書第22集「道仏北遺跡」刊行 須賀小学校 道徳教育推進協議会事例発表（文部科学省）
	8		教育フォーラム2014開催
	9		小学校防犯カメラ設置工事
	11		百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「最優秀校」受賞 前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞 第28回毎日カップ中学校体力づくりコンテストにおいて 須賀中学校が「毎日新聞社賞」を受賞（全国第2位）

年 月			で き ご と
平成 27 年	12 月		宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する 審議会答申
	2		キッズISO国際認定証授与式において6名が特別賞受賞
	3		小中学校普通教室エアコン設置(小学1年生、中学3年生)
	6		郷土資料館2階会議室を西原自然の森散策者等のフリースペースとして開放
	8		「宮代町立小中学校の適正配置に関する基本方針」まとめ
	9		百間中学校 体育館屋根改修工事
	11		百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優秀校」受賞 前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞
	12		教育系ネットワーク構築第Ⅰ期(ファイルサーバ、パソコン配備) 町制施行60周年記念ソング「雲の果てに」を披露
平成 28	1		教育フォーラム2015開催
	3		「宮代町教育振興基本計画(H28-32)」策定 彩の国21世紀郷土かるた県大会において団体戦初優勝 「総合型スポーツクラブみやしろ」新規設立
	4		「新・教育委員会制度」移行 言語通級指導教室「ことばの学級」開設 宮代町立図書館 第2期指定管理スタート
	7		学校給食調理コンクール「自由献立部門」埼玉県教育委員会教育長賞受賞
	9		笠原小学校耐震補強工事 宮代町立学校給食センターボイラー更新工事
	10		中学校防犯カメラ設置工事 教育系ネットワーク構築第Ⅱ期(校務支援システム稼働) 宮代町立小中学校適正配置計画 地域説明会(全6回)
	11		百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「最優秀校」受賞 笠原小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞 前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞
	12		小学校エアコン設置(普通教室、音楽室) 補正予算可決
平成 29	1		宮代町総合運動公園室内プール棟吊天井改修工事完了
	2		中学校エアコン設置(普通教室、音楽室) 補正予算可決
	3		宮代町立小中学校公式ホームページ管理システム導入 新みやしろ郷土かるた完成式典・表彰式 宮代町文化財調査報告書第23集「道仏遺跡」刊行
	7		新みやしろ郷土かるた大会初開催
	9		百間小学校 ことばの教室改修工事 教育だより「みやしろ」創刊
	11		文部科学省・埼玉県教育委員会委嘱「外国語教育強化地域拠点事業」 外国語活動・英語教育研究発表 百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞 和戸公民館第2駐車場整備
	12		MIYASHIROエコ☆スターズ「地球温暖化防止活動環境大臣賞」受賞 須賀中学校 第31回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト「優良校」受賞
平成 30	3		小中学校普通教室エアコン設置(小学2～6年生、中学1・2年生)
	4		文部科学省委嘱「教育課程特例校指定事業」 宮代町総合運動公園 第3期指定管理スタート
	9		郷土資料館常設展示室及び特別展示室空調機器更新 宮代町立東小学校工作物撤去工事 宮代町立百間小学校第二校舎屋上防水改修工事
	11		東小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞 百間小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「入選校」受賞 前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「入選校」受賞 百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「PTA活動優秀校」受賞
	12		須賀中学校 第32回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト「優良校」受賞

年 月		で き ご と
平成 31 年	1 月	和戸公民館外壁等改修工事
	2	中学校劣化診断の実施
	3	町指定文化財旧加藤家住宅茅葺屋根葺き替え工事(北側屋根 刺し茅工事) 小中学校特別教室エアコン設置補正予算可決
令和 元	7	放課後子供教室の初開催 宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会再設置
	9	小中学校パソコン教室へのタブレット端末導入
	11	百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞 須賀小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「入選校」受賞 百間小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「入選校」受賞 東小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「入選校」受賞 前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「入選校」受賞
令和 2	12	須賀中学校 第33回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト「優良校」受賞
	2	小学校劣化診断の実施
	3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校の臨時休業 (3月3日から3月26日まで) 小中学校特別教室エアコン設置 第2次図書館ビジョン策定
	4	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校の臨時休業(延長) (4月8日から5月31日まで延長) 百間小学校すべり台が国の登録有形文化財に登録
	6	小中学校再開(6月1日から) 第1学期 令和2年6月1日～8月7日 第2学期 令和2年8月20日～12月25日 第3学期 令和3年1月8日～3月26日
	10	東京2020オリンピック聖火リレートーチ巡回展示を実施
	11	GIGAスクール構想による小中学校情報通信ネットワーク工事 東小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優秀校」受賞 百間小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞 百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞 前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞 須賀小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「入選校」受賞 郷土資料館外構整備工事
令和 3	1	成人式を東武動物公園にて初開催
	3	第2期宮代町教育振興基本計画策定 GIGAスクール構想による児童生徒1人1台情報端末整備 宮代町文化財調査報告書第24集「地蔵院遺跡(第1次)」刊行
	4	宮代町立図書館 第3期指定管理スタート
	5	宮代町立小中学校の適正配置及び通学区域の編成等に関する審議会答申
	7	東京2020オリンピック聖火リレーを杉戸・宮代区間で実施
	10	小学校トイレ一部洋式化
	11	百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「入選校」受賞 前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「入選校」受賞
	12	宮代町教育支援センター設置及び管理条例制定
令和 4	2	東小学校校舎増築
	3	宮代町教育支援センター改修
	4	宮代町教育支援センター開設 宮代町学校施設個別施設計画策定
	7	埼玉県学校給食調理コンクール テーマ献立部門において第1位、 埼玉県・さいたま市教育委員会教育長賞受賞
	10	町民スポーツフェスティバルを開催 小学校トイレ一部洋式、乾式化
	11	須賀小学校地域拠点施設検討委員会設置 東小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「最優秀校」受賞 前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「最優秀校」受賞

年 月			で き ご と
令和 5 年	1 月		改正民法の施行による成年年齢が18歳へと引き下げられたことを受け成人式の名称を「二十歳のつどい」へと改称
			須賀中学校 体力向上優良校受賞
		3	屋内運動場非構造部材改修(須賀小学校、須賀中学校)
			給食配膳用エレベーター改修(須賀中学校、百間中学校)
			宮代町文化財調査報告書第25集「中寺遺跡・道仏北遺跡・地藏院遺跡・山崎遺跡・姫宮神社遺跡」刊行
		4	宮代町総合運動公園 第4期指定管理スタート
		8	中学校トイレ一部洋式、乾式化
			学校給食センターボイラー(No.1) 更新
		11	みやしろ芸術祭を初開催
			東小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「最優秀校」受賞
			百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞
			前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優秀校」受賞
令和 6 年	1 月	12	小中学校LED照明器具賃貸借(須賀小学校を除く6校)
			須賀中学校 第37回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト「第一学習社賞」受賞
		1	須賀中学校 体力向上優良校表彰受賞
			公共施設予約システム稼働(スポーツ施設)
		2	宮代町総合運動公園室内プールボイラー更新
			屋内運動場非構造部材改修(東小学校、笠原小学校、百間中学校)
		3	宮代町総合運動公園中央監視盤更新
			「東条原獅子舞用具」を町指定文化財第35号(有形民俗文化財)に指定
			総合運動公園体育館メインアリーナ天井部昇降設備設置工事
		4	公共施設予約システム稼働(公民館)
		9	須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会設置
		11	東小学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「最優秀校」受賞
令和 7 年	2 月		須賀中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優秀校」受賞
			百間中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「優良校」受賞
			前原中学校 埼玉県学校歯科保健コンクール「PTA活動優秀校」受賞
			埼玉県学校給食調理コンクール テーマ献立部門において第1位、埼玉県・さいたま市教育委員会教育長賞受賞
		3	屋内運動場非構造部材改修(百間小学校、前原中学校)
			宮代町文化財調査報告書第26集「地藏院遺跡(第2次)」刊行

Ⅱ 歴代教育委員・教育委員長・教育長（昭. 31. 地教行政施行より）

	教育委員		教育委員長		教育長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
吉 田 次 六	31.10. 1	32. 9.30	31.10. 1	32. 9.30		
大 高 彰	31.10. 1 42.12.8	42.8.18 46.8.18	34.9.30			
井 上 善 一	31.10. 1	47. 9.30	34.10. 1	35. 9.30		
島 村 昇	31.10. 1	32.12.31				
仲 村 清 一 郎	31.10. 1	41. 9.30			31.10. 1 41.10. 1	41. 9.30 42. 8.31 (職務代理)
柿 沼 嘉 一	32.10. 1	48. 9.30	32.10. 1 35.10. 1 40.10. 1	33. 9.30 37. 9.30 48. 5.22		
加 藤 盛 助	33. 3. 1	51. 9.30	37.10. 1	39. 9.30		
島 村 明					42. 9. 1 46.10. 4	43. 1.12 (職務代理) 47. 1.31 (職務代理)
小 島 承 一	43. 1.13	46. 9.23			43. 1.13	46. 9.23
関 根 良 平	47. 2. 1	59. 1.31			47. 2. 1	59. 1.31
関 根 一 郎	47.10. 1	63. 9.30	48. 5.23	63. 9.30		
島 照 夫	47.10. 1	51. 9.30				
中 村 孝	48.12.25	05.12.24	63.10. 3	05.12.24		
柴 崎 亨	51.12. 1	55. 2.16				
小 林 鈞 蔵	51.12. 1	55.12.30				
新 井 音 松	55. 7. 1	元. 1.22				
谷 澤 良 明	56. 8.25	13. 8.24	06. 1.27	11. 8.24		
神 田 政 夫	59. 2. 1	04. 1.31			59. 2. 2	04. 1.31
大 塚 満 治	63.10. 1	20. 9.30	11. 8.25	20. 9.30		
芝 田 清 美	元. 1.23	21. 1.22	20.10. 1	21. 1.22		
古 峰 孝	04. 2. 1	12. 1.31			04. 2. 1	12. 1.31
熊 倉 晴 子	06. 4. 1	18. 3.31				
岡 野 義 男	12. 2. 1	15. 3.31			12. 2. 1	15. 3.31
青 木 千 絵	13.12.11	21.12.10				
船 橋 昭 一	18. 6.12	24. 9.30	21. 1.23	24. 9.30		
桐 川 弘 子	15. 4. 1	24. 1.31			15. 4. 2	24. 1.31
武 笠 正 明	20.10. 1	28.9.30				
中 村 昭 雄	21. 1.23	29.1.22	24.10. 1	28.3.31		
中 村 雅 昭	21.12.11	25.12.10				
篠 原 敏 雄					24. 2. 1	24. 3.31 (職務代理)
吉 羽 秀 男	24. 4. 1	28.3.31			24. 4. 2	28.3.31
寺 尾 裕	24.10. 1	30.6.11				
深 井 美 智 子	25.12.11					
中 村 敏 明			H28.4.1新制度移行		28.4.1	7.3.31
吉澤 久美子	28.10.1	6.9.30				
田 中 卓 也	29.1.23	2.1.22				
菊 地 信 一	30.6.12	31.2.18				
瀧ヶ崎 隆 司	31.4.1					
山 田 鋭 生	2.1.23					
大和田 由 梨	6.10.1					
島 村 圭 一					7.4.1	

Ⅲ 教育関係附属機関等

機 関 名	職 務 の 内 容	所 管	定 数	任 期
宮代町立小・中学校一貫教育推進委員会	宮代町立小・中学校の一貫教育に関する施策の適正かつ円滑な実施のための助言や運営上の協力活動	学校教育	17名	2年
宮代町社会教育委員 (兼 公民館運営審議会委員)	(1)社会教育に関する諸計画を立案すること。 (2)定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。 (3)前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。 (4)教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べるができる。 (5)教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。	生涯学習	10名以内	2年
宮代町文化財保護委員	文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、並びにこれらの事項に関して教育委員会に建議する。	文化財 保護担当	8名以内	2年
宮代町立図書館協議会	(1)図書館の運営に関し館長の諮問に応ずる (2)図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる。	生涯学習	10名以内	2年
宮代町学校給食運営審議会	学校給食の適正な運営と児童・生徒の心身の健全な発達に寄与すること (1)学校給食の計画に関する事項 (2)学校給食費に関する事項 (3)給食内容に関する事項 (4)その他、学校給食に関する重要事項	教育総務	15名以内	2年
宮代町就学支援委員会	(1)障がい児の障害の種類及び程度の判断に関すること。 (2)障がい児の就学に係る教育的支援に関すること。	学校教育	20名以内	1年
宮代町スポーツ推進委員	町のスポーツ教室や大会の企画・運営、町民のスポーツ活動をサポートするための、実技指導や助言を行う。	スポーツ 振興担当	14名以内	2年

Ⅳ 小中学校 児童生徒数・教職員数

1 令和7年度教職員配置状況

	県費		町費						合計
	常勤	非常勤	非常勤講師	特別支援サポーター	相談員・不登校対策学習支援員	英語非常勤・ALT	スクール・サポート・スタッフ	用務員	
須賀小	20	2	2	1		※小学校全体 ALT2 非常勤2	2	1	28
百間小	27		2	1			2	1	33
東小	24		2	1			2	1	30
笠原小	32		2	1			2	1	38
小学校小計	103	2	8	4		4	8	4	133
須賀中	19	2	2		3	1	2	1	30
百間中	28		2		3	1	2	1	37
前原中	17	1	2		3	1	2	1	27
中学校小計	64	3	6		9	3	6	3	94
合 計	167人	5人	14人	4人	9人	7人	14人	7人	227人

※ 小学校の「英語指導補助員」「ALT」は各校を巡回指導しているため、小計・合計にのみ反映

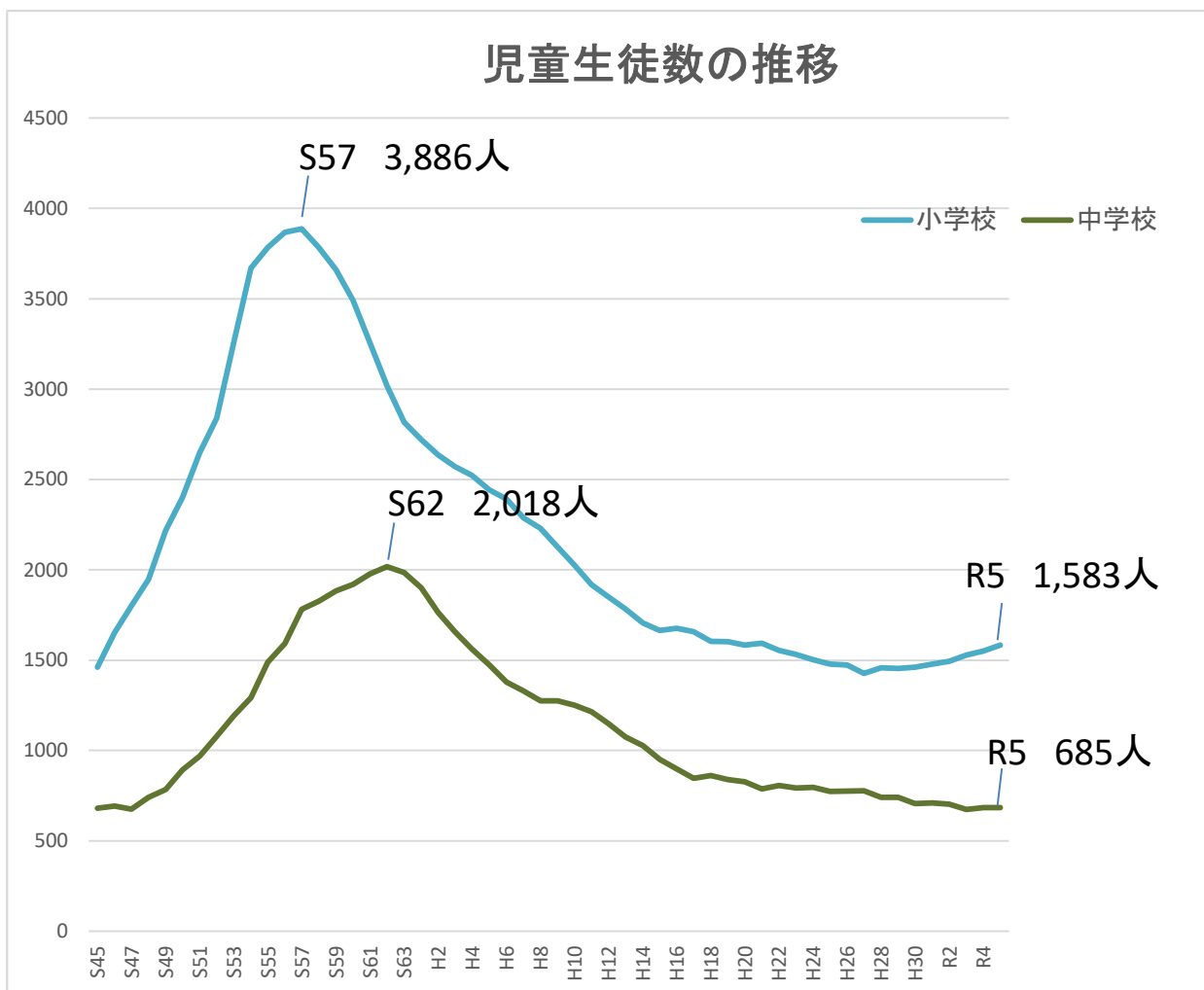
2 令和7年度児童生徒数・学級数

R7.5.1現在

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	小 計	特別支援	合 計
須賀小	34人	47人	47人	44人	52人	50人	274人	13人	287人
特別支援学級児童数	2人		4人	3人	3人	1人	13人		
学級数	1	2	2	2	2	2	11	2	13
百間小	54人	38人	54人	47人	43人	58人	294人	10人	304人
特別支援学級児童数	2人	3人	1人	3人		1人	10人		
学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	14
東小	55人	52人	59人	68人	73人	59人	366人	10人	376人
特別支援学級児童数	1人	2人	1人	3人	3人		10人		
学級数	2	2	2	2	3	2	13	2	15
笠原小	65人	103人	107人	96人	89人	86人	546人	21人	567人
特別支援学級児童数	3人	2人	4人	6人	2人	4人	21人		
学級数	2	3	4	3	3	3	18	4	22
小学校計	208人	240人	267人	255人	257人	253人	1,480人	54人	1,534人
	8人	7人	10人	15人	8人	6人	54人		
	7	9	10	9	10	9	54	10	64
須賀中	45人	49人	50人				144人	3人	147人
特別支援学級生徒数	1人	1人	1人				3人		
学級数	2	2	2				6	2	8
百間中	148人	143人	137人				428人	11人	439人
特別支援学級生徒数	4人	3人	4人				11人		
学級数	4	4	4				12	2	14
前原中	38人	50人	48人				136人	3人	139人
特別支援学級生徒数	2人	1人					3人		
学級数	1	2	2				5	2	7
中学校計	231人	242人	235人				708人	17人	725人
	7人	5人	5人				17人		
	7	8	8				23	6	29
小中学校合計							2,188人	71人	2,259人
							71人		
							77	16	93

3 児童生徒数の推移(5年毎)

	S58	S63	H5	H10	H15	H20	H25	H30	R5
須賀小	1,174	995	929	666	501	484	450	365	302
百間小	1,178	827	729	684	568	504	435	384	324
東小	769	498	438	413	344	329	277	309	381
笠原小	661	497	348	263	251	266	316	403	576
合計	3,782	2,817	2,444	2,026	1,664	1,583	1,478	1,461	1,583
須賀中	638	687	547	485	321	231	243	206	159
百間中	630	684	497	385	300	299	294	303	372
前原中	558	614	431	380	331	297	238	197	154
合計	1,826	1,985	1,475	1,250	952	827	775	706	685



V 学 校 給 食

1 実施状況

学 校 名	給食開始	給食区分	児童生徒	教職員※	給食費
須賀小学校	H2. 4	完 全	287人	28人	4,100円 教職員 町補填相当分 +660円
百間小学校			304人	33人	
東小学校			376人	30人	
笠原小学校			567人	38人	
計			1,534人	133人	

※ 小学校の「英語指導補助員」「ALT」は各校を巡回指導しているため、小計・合計にのみ反映

須賀中学校	H5. 4	完 全	147人	30人	4,800円 教職員 町補填相当分 +770円
百間中学校			439人	37人	
前原中学校			139人	27人	
計			725人	94人	

※11ヶ月徴収

2 給食費

設定・改定	小学校	中学校	備 考
平成 2年 4月 1日	3,400円	—	給食開始
平成 5年 4月 1日	—	4,300円	給食開始
平成 8年 4月 1日	3,900円	据 置	小中学校間の単価調整
平成21年 4月 1日	4,100円	4,800円	原油高騰による物価上昇

3 栄養摂取状況

		小学校	中学校
		栄養摂取基準	栄養摂取基準
熱 量	Kcal	650	830
たん白質	g	※ (1)	※ (1)
脂 肪	g	※ (2)	※ (2)
鉄 分	mg	3.0	4.0
カルシウム	mg	350	450
レチノール当量 (ビタミンA)	μg	170	300
ビタミンB1	mg	0.4	0.5
ビタミンB2	mg	0.4	0.6
ビタミンC	mg	20	30
塩 分	g	2.0未満	2.5未満
食物繊維	g	5.0	6.5
亜 鉛	mg	2.0	3.0

※(1)学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%

※(2)学校給食による摂取エネルギー全体の20%～30%

4 地場産食材の利用実績

種 類	使用料(kg)			
	R6	増減	R5	R4
米類				
米	27,041	2,546	24,495	23,832
もち米	59	▲ 15	74	70
米粉	10	▲ 10	20	10
ささげ	37	▲ 18	55	54
その他(黒赤米 他)	0	0	0	0
野菜類				
小松菜	1,035	760	275	575
ねぎ	1,342	▲ 668	2,010	2,105
大根	880	▲ 160	1,040	1,030
玉ねぎ	1,540	▲ 355	1,895	1,210
きゃべつ	110	▲ 560	670	890
白菜	450	▲ 400	850	620
にんじん	0	▲ 1,020	1,020	2,500
ブロッコリー	140	80	60	140
きゅうり	1,085	▲ 20	1,105	870
巨峰	130	▲ 15	145	0
男爵	150	▲ 500	650	520
かぶ、赤かぶ	0	0	0	30
ヤーコン	175	▲ 15	190	160
北あかり	360	▲ 120	480	280
なす	200	140	60	210
ブルーベリー	110	0	110	0
さといも	0	▲ 150	150	160
きくいも	40	0	40	40
そうめん南瓜	90	0	90	90
ほうれん草	0	▲ 145	145	190
梨	2	2	0	55
パプリカ(赤・黄)	100	▲ 5	105	85
さつまいも	300	▲ 150	450	270
ピーマン	32	20	12	35
ゆず	0	▲ 2	2	4
メイクイン	0	▲ 220	220	150
はちみつ	0	0	0	0
くわい	25	▲ 35	60	60
冬瓜	50	50	0	0
南瓜	20	▲ 30	50	0
その他	192	62	130	143
加工品				
味噌	0	0	0	0
合 計	35,705	▲ 953	36,658	36,388

全体使用量	92,634	3,638	88,996	89,737
使用割合	38.5%	-2.7%	41.2%	40.5%
うち野菜	9.2%	-4.3%	13.5%	13.8%

Ⅵ 指定文化財

(1) 国指定

NO	種別	名 称	所 在	指定年月日	所有者等
1	彫刻	木造阿弥陀如来及び両脇侍像(3軀)	東京都台東区上野公園13-9	大正3年8月25日	西光院 (独)東京国立博物館寄託

(2) 国登録有形文化財

NO	種別	名 称	所 在	指定年月日	所有者等
1	歴史資料	工業技術資料	学園台4-1-4	平成20年3月7日	日本工業大学
2	歴史資料	百間小学校すべり台	西原261-1	令和2年4月3日	宮代町

(3) 県指定

NO	種別	名 称	所 在	指定年月日	所有者等
1	建造物	五社神社本殿(1棟)	宮代町字東90	昭和37年3月10日	五社神社

(4) 県選定

NO	種別	名 称	所 在	指定年月日	所有者等
1	重要遺跡	山崎遺跡	山崎	昭和51年10月1日	個人及び公有地

(5) 町指定

NO	種別	名 称	所 在	指定年月日	所有者等
1		(解除による欠番)			
2	工芸品	鰐口(1口)	西原289	平成3年2月21日	宝生院 町郷土資料館寄託
3	彫刻	十一面観音像(1体)	和戸808	〃	西方院
4	古文書	西光院朱印状(12通) 付 御朱印箱(1点)	東410	指定:平成3年2月21日 変更:平成28年3月31日	西光院
5	古文書	西光院中世文書(5点)	東410	指定:平成3年2月21日 変更:平成28年3月31日	西光院
6	工芸品	姫宮神社絵馬(3面)	姫宮373	平成3年2月21日	姫宮神社
7	天然記念	大イチョウ	中38	〃	宝生院
8	建造物	斎藤家住宅 付 物置・蔵	西原289	平成4年2月19日	宮代町
9	建造物	進修館	西原261	〃	宮代町
10	建造物	加藤家住宅	西原289	〃	宮代町
11	彫刻	阿弥陀如来坐像	西原289	平成15年4月1日	西原自治会 町郷土資料館寄託
12	古文書	戸田家文書	西原289	平成16年4月1日	戸田義一 町郷土資料館寄託
13	古文書	折原家文書	西原289	平成16年4月1日	折原静佑 町郷土資料館寄託
14	考古資料	逆井遺跡第1号ブロック出土石器	西原289	平成16年4月1日	宮代町

NO	種別	名 称	所 在	指定年月日	所有者等
15	古文書	岩崎家文書	西原289	平成18年4月1日	宮代町
16	歴史資料	川島庚申塔群	百間6-655	平成18年4月1日	切戸・川島庚申講中
17	歴史資料	五社神社箱付和鏡 付絵鏡 及び台座	東90	平成18年4月1日	五社神社
18	考古資料	前原遺跡出土縄文時代草創 期微隆起線文土器	西原289	平成20年4月1日	宮代町
19	古文書	岡安家文書	西原289 大字東条原	平成20年4月1日	宮代町 岡安邦彦
20	考古資料	前原遺跡出土旧石器時代石 器群	西原289	平成22年4月1日	宮代町
21	古文書	関根家文書	西原289	平成22年4月1日	関根孝吉 町郷土資料館寄託
22	彫刻	円空仏(役行者倚像)	西原289	平成24年3月31日	宝生院 町郷土資料館展示借用 中
23	彫刻	円空仏(如来形立像)	大字須賀1264	平成24年3月31日	真蔵院
24	彫刻	円空仏(菩薩形坐像二軀)	大字和戸808	平成24年3月31日	西方院
25	彫刻	円空仏(恵比須天立像二軀、 大黒天立像、護法神像)	大字和戸 西原289	平成24年3月31日	個人・一部町郷土資料 館展示借用中
26	彫刻	円空仏(阿弥陀如来坐像、菩 薩形坐像)	大字和戸	平成24年3月31日	個人
27	彫刻	円空仏(菩薩形立像)	大字和戸	平成24年3月31日	個人
28	彫刻	円空仏(菩薩形立像)	大字和戸	平成24年3月31日	個人
29	歴史資料	多少庵句碑	東90	平成26年3月31日	五社神社
30	歴史資料	多少庵俳額	東90	平成26年3月31日	五社神社
31	歴史資料	多少庵俳額	姫宮373	平成26年3月31日	姫宮神社
32	絵画	絹本着色徳川家康画像	東410	平成28年3月31日	西光院
33	工芸品	栗田口焼葵紋茶碗	東410	平成28年3月31日	西光院
34	歴史資料	和戸教会資料	和戸3-7-5 西原289	平成30年3月31日	和戸教会 宮代町
35	有形民俗	東条原獅子舞用具	宮代町東条原367	令和6年3月31日	東条原鷲宮神社

(6)町指定解除

NO	種別	名 称	所 在	指定年月日	所有者等
1	無形民俗	東条原獅子舞	東条原367	指定:昭和56年8月1日 解除: 令和4年4月18日	東条原獅子舞保存会

Ⅶ 頒布資料

各資料のお買い求めは

電脳みやしろ 歴史書店

<http://www.town.miyashiro.lg.jp/category/10-5-0-0-0.html>

1 町史編さん関係刊行物一覧

NO	名 称	内 容	頒布価格	発行日
1	宮代町史資料第1集 「地誌Ⅰ」	宮代町に関する江戸時代、明治時代の村の様子や社寺について収録しました。主なものは、「新編武蔵風土記稿」「武蔵国郡村誌」「神社・寺院・堂庵明細帳」などで、いずれも宮代町関係の部分を収録しています。当時の様子が克明に記され、重要な基礎資料です。	1,400円	平成3年3月30日
2	宮代町史資料第2集 「戸田家文書」	本書は、江戸時代の初期から本田の戸田家に伝わる古文書について編集しました。特に、元和5年の検地帳は写しではあるものの、須賀村の近世初頭の検地を知る上で貴重なものであり、当時の「武州騎東郡」の存在を示す数少ない史料です。	1,500円	平成4年3月30日
3	宮代町史資料第3集 「社寺総合調査Ⅰ」	本書は、当地域の中心的寺院である西光院を始め、青林寺、遍照院、医王院、観音寺、神外坊、地蔵院、正福坊、華蔵院、蓮谷の稲荷社あわせて町内10ヶ所の神社・寺院・堂庵について、その配置、建物、什宝の資料等を総合的に調査し、まとめたものです。	2,000円	平成5年3月31日
4	宮代町史資料第4集 「俳諧Ⅰ」	本書は、松尾芭蕉の流れをくむ江戸時代後期の「多少庵」と呼ばれる俳壇の句集です。今回は8冊を選び収録しました。多少庵は深川六庵の一つといわれる名流であり、天保8年、第四世の島村鬼吉(しまむらききつ)が当地に移したものです。多少庵の勢力は当地一帯にとどまらず、遠くは大坂の地名が句集にみることができ、ほぼ広範囲にわたるものでした。	1,500円	平成5年3月31日
5	宮代町史資料第5集 「岩崎家文書」	本書は、道仏の岩崎家に伝えられた百間中島村関係文書を中心として収録しました。4,000点を超える豊富な文書の中には、江戸時代中ごろから明治・大正時代にいたるまでの多岐にわたる貴重な資料があります。特に、江戸時代の笠原沼開発に関係した笠原沼新田周辺絵図や享保19年の笠原沼百間中島村新田検地帳は、以前に刊行された「戸田家文書」所収の笠原沼関係資料とあわせ、笠原沼新田開発の歴史を知るうえで重要な基礎資料といえます。	4,000円	平成6年3月31日
6	宮代町史資料第6集 「みやしろの信仰と年中行事」	本書は、宮代町の民俗のうち、町内の社寺やムラの行事として各地区で行われているものについてまとめた「信仰」と、町内の比較的古い年中行事を伝え、現在も行っている六軒の方にご協力いただいて、一年間の家の行事についてまとめた「年中行事」からなる資料集です。	2,500円	平成6年3月31日
7	宮代町史資料第7集 「宮代の遺跡」	本書は、宮代町に所在する遺跡の分布調査の結果を中心として、昭和49年以来行われてきた遺跡の発掘調査の概要を収録しました。これまで昭和47、48年度の遺跡の分布調査で20ヶ所の遺跡と、その後に発見された2ヶ所とで22ヶ所の遺跡が確認されていましたが、今回の分布調査で新たに17ヶ所の遺跡が発見され、この結果、合わせて39ヶ所の遺跡の所在が確認されました。	2,000円	平成7年3月31日

8	宮代町史資料第8集 「社寺総合調査Ⅱ」	本書では、旧百間村の鎮守である姫宮神社、旧須賀村の鎮守であった身代神社をはじめ、東条原鷲宮神社、西条原鷲宮神社、辰新田浅間神社、国納雷電社、和戸胡録神社、和戸愛宕神社、山崎浅間神社、本田雷電社、須賀御霊大権現、和戸天満宮、和戸宇宮神社の12ヶ所の神社・寺院・堂庵について、その境内の建物、什宝などを総合的に調査し、その結果をまとめたものです。	3,000円	平成7年3月31日
9	宮代町史資料第9集 「祈りの札」	本書は、町内の旧家である新井家、加藤家に残されていた社寺の守札を整理しまとめたもので、人々の信仰の様子を知る上で大変貴重な資料です。江戸時代から昭和時代にいたるまでの計4, 818点の守札について、その銘文や形態、また発行した社寺の場所などをつぶさに調査しました。 本書のように、守札についての総合的な資料集は県内にもあまり例がなく、宮代町における民俗文化の解明はもとより、今後の民間信仰などの研究においても大いに資するものがあると期待できます。	2,000円	平成8年3月29日
10	宮代町史資料第10集 「俳諧Ⅱ」	本書は、町史資料第5集「俳諧Ⅰ」に続く俳諧の資料集で、町内にその中心があった多少庵の句集、及び埼玉県内の毛呂山・児玉往還沿いに勢力をもっていた春秋庵の句集についてまとめたものです。 収録した句集は、「もとのみち」「古今俳諧明題集」「玉兔集」(以上、多少庵関係)「逸淵発句集」(春秋庵関係)です。	1,500円	平成8年3月29日
11	宮代町史資料第11集 「社寺総合調査Ⅲ」	本書は、町史資料第3集、第8集に続くもので、稲荷神社(蓮谷)、庚申神社(川端1丁目)、長福寺(須賀)、五社神社(東)、浅間神社(和戸)、神外坊(中)、八幡神社(若宮)、松永庵(山崎)、重殿社(山崎)、安養庵(辰新田)、稲荷神社(道仏)、稲荷社[保食社](金原)、青蓮院(中島)、稲荷神社(八河内)という、町内14ヶ所の神社、寺院、堂庵について掲載しました。これらのなかには、前に出ている「社寺総合調査Ⅰ・Ⅱ」の補遺も収録されています。	2,500円	平成9年8月31日
12	宮代町史資料第12集 「新井家文書」	本書は、西原の新井家に残された古文書などの歴史史料をまとめたものです。新井家は、江戸時代の文化・文政期に組頭や名主を勤めた家で、残された文書は約5, 000点にのぼります。これらの文書とともに残されていた約4, 000点の社寺札については、町史資料第9集「祈りの札」に掲載しているところです。文書の中からは、元禄時代の検地帳や、幕末・明治維新期も杉戸宿助郷に関する史料、明治時代の屯田兵に関する書簡など貴重な史料が検出されました。	4,000円	平成9年8月31日
13	宮代町史資料第13集 「俳諧Ⅲ」	本書は、町史資料第4集、第10集に続く俳諧の資料集です。今回は、多少庵の句集および同時期の俳諧結社である東武獅子門の句集のほか、町内の姫宮神社、五社神社、青蓮院に残されている俳額について収録しました。	1,400円	平成10年3月31日
14	宮代町史資料第14集 「東条原の獅子舞」	本書は、町指定無形民俗文化財である「東条原鷲宮神社獅子舞」を多角的に調査し、記録したものです。獅子舞を伝承する地域の様子から、その芸能の実態、中学生による獅子舞の稽古、祭りの用具の図なども掲載しました。町では、昭和56年に無形民俗文化財に指定するとともに、平成7年度から8年度にかけて映像記録を作成し、その保存に努めています。	1,400円	平成10年3月31日

15	宮代町史資料第15集 「社寺総合調査Ⅳ」	本書は、先に刊行された3冊の町史資料「社寺総合調査Ⅰ～Ⅲ」に引き続き、町内の神社・寺院・堂庵について掲載しました。今回は、大聖院、宝光寺、宝生院、青林寺、関根家墓地、真蔵院、春作庵、大日堂、文珠院墓地、不動堂の10ヶ所について、境内の建物、仏像、什物などを総合的に調査し、まとめました。	3,000円	平成11年3月25日
16	宮代町史資料第16集 「新聞資料」	本書は、明治11年より昭和40年代までの宮代町の主な出来事を、その当時の新聞記事をもとにまとめたものです。新聞記事を通して見た当時の社会の動き、世相、風俗がよくわかるように、行政関係を始めとして各項目ごとに載せ、年代順に並べた構成になっています。また、宮代町の近代の歴史年表として活用できるように、新聞目録には各項目のほかにも他の出来事も掲載しました。	2,000円	平成11年3月25日
17	宮代町史資料第17集 「社寺総合調査Ⅴ・路傍調査」	社寺総合調査は、町内にある社寺の文書、石塔、建物の配置等について、過去4冊の資料集としてまとめてきました。本書はそれに続く5冊目の資料集として、神社・寺院・堂庵だけでなく並行して行われてきた町内の路傍や記念碑等の石造物の調査成果も併せて掲載しました。社寺総合調査としては19ヶ所を、また路傍調査としては104地点の調査結果を掲載しました。	3,000円	平成12年3月27日
18	宮代町史資料第18集 「折原家文書」	本書は、山崎の折原家に残された古文書などについて編集したものです。折原家に残された資料は6,000点近くにのぼります。主体的には幕末から明治初期にかけてのもので、百間本村だけでなく逆井百間村新田や午高入百間村新田、百間中村清九郎請新田などの新田の古文書も多数残されていました。このほか、絵図や水争いの裁許状、検地帳など多数あり、貴重な資料群です。	3,000円	平成12年3月27日
19	宮代町史 通史編	宮代2万年の歴史を時代を追って解説した通史編。これまでの町史編さん事業の最後を飾る3冊のうちの第1冊目。	3,000円	平成14年3月31日
20	宮代町史 民俗編	宮代町史編さんの集大成の第2冊目。宮代町の歩みを民俗という切り口で解説。	3,000円	平成15年3月31日
21	水と緑の宮代～宮代町史 ビジュアル版～	町史編さん事業の集大成となる、写真による宮代町史。原始・古代、中世、近世、近現代、民俗の5章から構成されています。全頁カラーで、宮代町の歴史を学ぶための見易さを重視して編集しました。簡単に目で見て宮代町史を学ぶことができます。初心者必携。	2,500円	平成16年3月31日

2 町文化財関係刊行物

NO	名 称	内 容	頒布価格	発行日
1	みやしろ風土記 増補版 (改定版)	昭和57年6月から平成4年12月までの間、広報みやしろに毎月掲載してきたコラム「みやしろ風土記」をとりまとめたものです。	600円	平成14年2月28日
2	宮代町文化財調査報告書 第1集 「前原遺跡」	昭和54～55年度に行われた発掘調査です。縄文時代早期前半(撚糸文期)の集落跡が検出されました。この他、旧石器時代の石器ブロックや草創期の土器も出土しています。縄文早期前半(撚糸文期)の集落としては県内で初めての発見であり、出土した岩偶がこの時期のものとしては全国にその例を見ない貴重なものであることがわかりました。	4,500円	昭和58年3月31日

3	宮代町文化財調査報告書 第6集「逆井遺跡・山崎山遺跡」	旧石器時代の細石刃や細石核と呼ばれる石器をはじめ、縄文時代の住居跡や土坑、炉穴などが多数検出されました。細石器ブロックは、大宮台地で初めてのものです。	4,000円	平成10年3月31日
4	宮代町文化財調査報告書 第7集「中遺跡・星谷遺跡」	星谷遺跡では、縄文時代後期の住居跡などが発見されました。中遺跡では、古代のものと推定される道路状遺構や中・近世の溝などが検出されました。この他、旧石器時代のナイフ型石器も出土しています。	1,000円	平成11年3月31日
5	宮代町文化財調査報告書 第8集「藤曽根遺跡・中寺遺跡」	藤曽根遺跡及び中寺遺跡で出土した、約3,500年前の縄文時代の数多くの土器や、戦国時代から江戸時代にかけての武将鈴木雅楽助の館と推定される建物跡や出土品が掲載されています。	1,000円	平成13年3月30日
6	宮代町文化財調査報告書 第9集「宮代町の中世遺物」	宮代町に関する古文書や仏像、金工品のほか、室町時代の供養塔である板碑や石造物、武将の館や旗本服部氏の陣屋と推定される建物跡など、鎌倉時代から戦国時代にかけてのすべての遺物が写真付で解説されています。	頒布終了	平成13年3月31日
7	宮代町文化財調査報告書 第10集「山崎南遺跡・道仏遺跡」	山崎南遺跡では、縄文時代後期の住居跡が、道仏遺跡では、古墳時代後期の住居跡が検出されました。特に道仏遺跡では、複数の住居跡が複雑に重複して検出されています。	1,000円	平成14年3月30日
8	宮代町文化財調査報告書 第11集「国納丸屋遺跡・中寺遺跡・伝承旗本服部氏屋敷跡遺跡」	縄文時代の住居跡や石器製作跡が発見された国納丸屋遺跡、中世から近世初頭の溝や井戸などが発見された中寺遺跡、中世から近世初頭の掘立柱建物跡、堀、柵列、井戸などが発見された伝承旗本服部氏屋敷跡遺跡の発掘調査の記録や成果をまとめたものです。	1,000円	平成15年3月28日
9	宮代町文化財調査報告書 第12集「東条原村岡安家文書」	東条原の岡安家は旗本細井氏の東条原村の名主を江戸時代中期後半から幕末まで勤めた家です。古文書は881点検出されました。文書目録の他、名主の変遷や年貢高の変遷等の東条原村の概要がわかる解説がされています。この他、久米原村に関わる戸田家文書や折原家文書から発見された良質な史料も収録されまとめられています。	1,000円	平成15年3月28日
10	宮代町文化財調査報告書 第13集「地蔵院遺跡・東条原宿屋敷遺跡・藤曽根遺跡・山崎山遺跡」	地蔵院遺跡では縄文時代前期後半と中期の住居跡が検出されています。また、15世紀代の溝や中世末の堀も検出されています。 東条原宿屋敷遺跡では鎌倉街道と推定される道路状遺構や方形竪穴遺構、地下式坑などが検出されました。 このほか、藤曽根遺跡、山崎山遺跡を含めた4遺跡の情報をまとめています。	1,000円	平成21年3月31日
11	宮代町文化財調査報告書 第14集「伝承旗本服部氏屋敷跡遺跡」	伝承旗本服部氏屋敷は宮代町字西原に所在する城館跡です。15世紀後半から17世紀初頭の堀や井戸などが検出されています。中世の段階では百間郷の城郭や居館(百間城)として、近世初頭は旗本服部氏の陣屋(百間陣屋)として機能したと推定されます。	1,500円	平成22年2月18日

12	宮代町文化財調査報告書 第15集「山崎遺跡・山崎山 遺跡」	山崎山遺跡は埼玉県最古の鍛冶工房跡が検出された ことで有名ですが、このほか、縄文時代後期の住居跡 も多数出土しています。鍛冶関連遺物としては、鍛冶 滓、羽口、砥石等が出土しています。4世紀代の鍛冶 工房遺跡としては貴重な遺構です。 一方、山崎遺跡からは、縄文時代の住居跡や江戸時 代前期の陣屋や役所に係る堀跡が検出されていま す。	2,000円	平成22年3月31日
13	宮代町文化財調査報告書 第16集「金原遺跡群～縄 文時代以降編～」	縄文時代後期初頭称名寺期の住居跡が18軒検出さ れました。また、住居列の奥には、方形柱穴列も1棟検 出されています。この他、縄文時代早期中葉から後期 前半の住居跡も検出されています。縄文時代後期初 頭の集落がほぼ全て発掘された貴重な遺跡です。	2,500円	平成22年12月25日
14	宮代町文化財調査報告書 第17集「身代神社遺跡・地 蔵院遺跡・宿源太山遺跡・ 山崎山遺跡」	昭和49年度に発掘調査された身代神社遺跡は、宮代 町で初めて発掘された遺跡です。標高7メートルの場 所から、縄文時代前期初頭の遺構が検出されました。 地藏院遺跡では、縄文時代の住居跡が検出されまし た。中世では、堀の中から多量の遺物が出土していま す。	2,000円	平成23年3月31日
15	宮代町文化財調査報告書 第18集「山崎遺跡」	昭和50年度、平成14年度、平成18・19年度、平成18・ 21・22年度に行われた山崎遺跡の発掘調査報告書で す。縄文時代後期の住居跡が5軒、そのうち4軒が焼 失住居でした。この他、古墳時代の住居跡も3軒検出 されています。	1,500円	平成24年3月31日
16	宮代町文化財調査報告書 第19集「金原遺跡―旧石 器時代編―」	本書は金原遺跡の旧石器時代編です。石器集中が11 基、礫群が8基検出されました。旧石器時代後期の岩 宿Ⅱ期や砂川期、尖頭器期の石器集中が検出されま した。	1,500円	平成25年3月31日
17	宮代町文化財調査報告書 第20集「道仏北遺跡・道仏 上遺跡」	縄文時代早期後半から前期後半までの住居跡が多数 検出されました。また、古墳時代中期の住居跡も見つ かっています。住居跡内からは宮代町唯一の勾玉も発 見されています。縄文時代の住居跡は19軒、古墳時 代の住居跡は2軒です。	2,500円	平成25年3月31日
18	宮代町文化財調査報告書 第21集「須賀遺跡・姫宮神 社遺跡・山崎南遺跡・伝承 旗本服部氏屋敷跡遺跡・ 新山遺跡・西光院遺跡・星 谷遺跡」	小規模な試掘調査や発掘調査をまとめたものです。須 賀遺跡からは土師器の壺が、姫宮神社遺跡からは朝 顔形埴輪が出土しています。星谷遺跡や山崎南遺跡 からは縄文時代後期中葉(加曽利B式期)の土器が多 数出土しました。	1,500円	平成26年3月31日
19	宮代町文化財調査報告書 第22集「道仏北遺跡」	縄文時代早期後半から中期初頭までの住居跡が18軒 検出されました。特に縄文時代前期中葉と、中期初頭 の集落が発見されたことは特筆されます。	3,000円	平成26年3月31日
20	宮代町文化財調査報告書 第23集「道仏遺跡」	古墳時代中期から後期の住居跡が147軒検出されまし た。本地域の拠点的な大集落であったと推定されま す。須恵器の甕(はそう)や石製模造品、大型土鍾、管 玉、白玉、土玉、韓式土器なども出土しています。土 師器焼成坑と推定される遺構も検出されています。	3,000円	平成29年3月31日
21	宮代町文化財調査報告書 第24集「地藏院遺跡(第1 次)」	縄文時代早期後半から後期前半、及び中・近世の遺 構が検出されました。特に縄文時代早期後半や中期 後半における多くの遺構、遺物が検出され、縄文時代 中期後半と推定される土坑から獣骨が出土し、その付 近からは埋設土器も発掘されています。また、中世の 遺構、遺物も認められ、注目されます。	2,000円	令和3年3月26日

22	宮代町文化財調査報告書 第25集「中寺遺跡・道仏北 遺跡・地蔵院遺跡・山崎遺 跡・姫宮神社遺跡」	縄文時代早期後半から中・近世の遺構・遺物が検出されました。中寺遺跡では今回の調査地点が岩付城主北条氏の家臣であった鈴木雅楽助の居館近くであったことで、出土した遺構・遺物との関係性が窺われます。特に姫宮神社遺跡では町域で初めて古墳跡が5基検出されました。また、古墳跡以前遺の住居跡や周溝状遺構が検出され、住居跡から多くの土師器が出土しました。	2,000円	令和5年3月31日
23	宮代町文化財調査報告書 第26集「地蔵院遺跡(第2 次)」	本書は平成元年度に行われた、西原自然の森整備事業「ふれ愛センターみやしろ(現 すてっぷ宮代)」建設に伴う第二次発掘調査の報告書です。 調査によって、古墳時代の住居跡が1軒、縄文時代早期末の住居跡4軒や多数の炉穴が検出され、町域にある同時期の集落との関係性を考えるうえで貴重な資料となりました。 主な出土遺構は、縄文時代は、早期後半の住居跡が4軒、前期の住居跡が1軒、早期の炉穴78基、縄文時代の土坑16基、古墳時代前期末～中期初頭の住居跡が1軒検出されています。中・近世の遺構は、地下式坑が1基、溝3条が検出されています。	3,000円	令和7年3月25日

3 資料館常設展示図録・特別展図録

NO	名 称	内 容	頒布価格	発行日
1	宮代町郷土資料館常設展 解説図録	郷土資料館の常設展示の図録。	500円	平成10年3月
2	平成6年度特別展「みや しろの円空仏」	円空は寛永9年美濃国に生まれた僧で、生涯に12万体の像仏を祈願し、全国を巡りながら仏像を刻んで歩いたと伝えられています。円空は、何度か日光へ向かったといわれ、これを証明するかのように、日光御成道のとおる町内にも数多くの円空仏が確認されています。この特別展では、宮代町内の円空仏を中心として、日光御成道沿いの円空仏を紹介しました。	100円	平成6年10月
3	平成7年度特別展 「宮代40年の歩み」	町制施行40周年を記念し、戦後50年という節目の年を迎えて、写真や資料を展示しました。	100円	平成7年11月
4	平成8年度特別展「宮代の 俳諧 多少庵の人々」	松尾芭蕉の流れをくみ、「深川六庵」の一つと称されていた「多少庵」が、第四世 島村鬼吉の手により天保八年に当地へ移されました。江戸時代から明治、大正時代を経て昭和時代の初期にいたるまで、精力的に活動がおこなわれました。特別展では、「多少庵」で活躍した町域出身の俳人を中心に紹介しました。	100円	平成8年10月
5	平成9年度特別展「養蚕 錦絵の世界」	養蚕は、古代日本にもたらされた技術で、以来連綿と伝えられてきたものです。今回の特別展では、町民の方々から寄贈いただいた資料の中から錦絵にスポットをあて、ここに描かれた養蚕を中心として道具や信仰についての資料を紹介しました。	200円	平成9年10月
6	平成10年度特別展「めぐ る・舞う～宮代の獅子たち」	宮代町内では、四季折々さまざまな民俗行事が行われています。その代表的なものとして、「獅子舞」と「お獅子様」の行事があります。特別展では、町域の「獅子舞」と「お獅子様」を取り上げました。	500円	平成10年10月
7	平成11年度特別展「江戸 時代の旅と絵馬」	江戸時代、村々には伊勢講や板倉講、大山講などと呼ばれる多くの「講」がありました。「講」は集落単位で行われ、講員たちは講元が中心となりお参りの金を積み立て、講中の何人かが「代参」と称して、参詣の旅に出かけました。 特別展では、幕末、西国を巡った百間の村人の一人が記した「道中日記」をもとに、当時の旅を復元してみました。	100円	平成11年11月

8	平成12年度特別展「匠のわざ～宮代の伝統工芸」	木や竹、木綿や絹といった自然の素材を活かして作られたものは、かつては暮らしの中に多くありました。それらは職人が素材の特性を活かしながら伝統的な技法を用いて生み出された「作品」です。宮代町内にも、現在もなお鍛えぬかれたわざと伝統を守りつづけている職人がいます。 今回の特別展では、郷土宮代に息づく職人のわざに光をあてて、多くの方にその伝統工芸のすばらしさを知っていただこうと企画しました。	100円	平成12年11月
9	平成13年度特別展「鎌倉・室町時代の宮代町」	文化財調査報告書第9集「宮代町の中世遺物」の成果を、特別展として公開するものです。町内外に遺された、鎌倉・室町時代の宮代町を物語る資料を展示しました。 後北条氏の文書や焼失した西光院阿弥陀堂の古写真、仏像、足利氏満宛行状、経筒、鰐口、発掘された城館跡の写真等が掲載されています。	100円	平成13年11月
10	平成14年度特別展「和戸教会と日本の近代化を支えた人々」	黒船の来航をきっかけに開国を余儀なくされた日本は、様々な問題を抱えながらも、大きな変化を遂げていきました。このような中、明治5年に開港地横浜に向かった小島九右衛門は、当時では西洋文化の最高水準ともいえる人々との関係を持つようになり、その結果、横浜から遠く離れた和戸の地に、埼玉県で最初のキリスト教会が設立されました。今回の特別展では、日本の近代化とともに和戸教会の設立に関わった人物たちの関係がどのようなものであったのかをテーマに展示を行いました。	100円	平成14年11月
11	平成15年度特別展「英文学者 島村盛助」	島村盛助氏は夏目漱石に師事し、岩波書店初の辞書である岩波英和辞典の編さん者の一人として広く知られています。盛助氏が手がけた翻訳は、言葉の的確さと美しさにその特徴があると言われています。この展示では盛助氏の作品を通じて言葉の美しさ、また、当時の文壇等において第一線で活躍していた人々との交友、教育者としての活動の一端を取りあげました。	100円	平成15年11月
12	平成16年度特別展「わたしたちの学校～宮代の教育史～」	今回の展示では、庶民の教育機関として江戸時代中頃から盛んになった寺子屋や、明治時代以降の近代教育の歩みを町域の資料を中心に紹介しました。	200円	平成16年10月
13	平成17年度特別展「宮代町50年のあゆみ」	昭和30年7月20日、百間村と須賀村の2村合併により宮代町は誕生しました。平成17年は、町政50周年の年にあたります。これを記念し、宮代町50年間の歩みを、写真を中心にご紹介いたしました。	100円	平成17年10月
14	平成18年度特別展「笠原沼と笠原沼代用水」	笠原沼の造成や開発、笠原沼代用水の管理に係る組合などの内容が詳しく記載されています。笠原沼の造成は大河内金兵衛により行われ、開発は井沢弥惣兵衛により行われました。開発時の古文書や絵図が掲載されています。この他、笠原沼の造成が寛永2年(1625)と推定する根拠や笠原沼を巡る水争い、笠原沼代用水組合のことについて古文書や絵図などを用い説明しています。笠原沼の年表も記載されています。	200円	平成18年9月

15	平成19年度特別展「宮代の縄文土器～縄文後期の形と文様～」	宮代町で最も遺跡数の多い、縄文時代後期の遺跡から出土した称名寺式土器、堀之内式土器、加曾利B式土器についてまとめたものです。町内から出土した縄文後期の土器の大部分を掲載しています。この時代、町内では金原遺跡(はらっぱ一宮代)、前原遺跡(前原中学校)、地藏院遺跡(百間小学校)、山崎山遺跡(トクホン工場)、山崎遺跡(新しい村等)で集落が確認されています。	200円	平成19年10月
16	平成20年度特別展「宮代町と岩槻城」	平成18年度に宮代町で発見され大きな話題となった江戸時代中期の岩槻城の絵図を公開するため計画された展示です。この絵図は約2メートル50センチ四方の絵図で、江戸時代中期の岩槻城絵図としては初めての発見です。 この図録では、江戸時代前期・中期・後期のそれぞれの岩槻城絵図の比較や古本丸の記載のある江戸時代前期の絵図も掲載されています。この他、宮代町が岩槻藩領時代の古文書や岩槻城跡から出土した遺物、遺構の写真も掲載されています。	200円	平成20年11月
17	平成21年度特別展「宮代の水害」	宮代町域の明治43年、昭和22年の大水害について、「埼玉県水害誌」等をもとにまとめたものです。ことに、明治43年の大水害については「百間村水害誌」の克明な記録により、当時の大災害の様子がわかります。	200円	平成21年10月
18	平成22年度特別展「江戸時代の絵図」	宮代町に残る江戸時代の絵図について、ほぼ全ての写真を掲載しています。特に、「幸手領絵図」や「百間村絵図」、「百間三ヶ村絵図」といった大型の貴重な絵図の他、笠原沼関係の絵図、西光院絵図、各神社や仏閣の絵図も、写真を使い詳しく解説しています。	200円	平成22年10月
19	平成23年度特別展「宮代の信仰」	かつて、村の安全、豊作、疫病退散や健康、暮しの平安を願って行われてきた「講」や「札所めぐり」など宮代町の信仰の様子を、町内に残された古い御札などの資料から紹介しています。	100円	平成23年10月
20	平成24年度特別展「杉戸宿～杉戸宿と百間領の村々～」	この特別展は宮代町教育委員会と杉戸町教育委員会の共催でおこなわれました。 杉戸宿は粕壁宿や幸手宿に荷物や公文書の輸送をしていたため、多くの人や馬が必要で、百間領や幸手領の村人が杉戸宿へ行って荷物の輸送を行いました。これが助郷制度です。今回の展示はこの助郷のみでなく、杉戸宿の成立や杉戸宿の内容(本陣・脇本陣・問屋場・名主・旅籠屋など)、明治時代の杉戸宿など、明治32年に東武鉄道の杉戸駅(東武動物公園駅)が開設され宿場として衰退していくまでの歴史を展示しました。	200円	平成24年10月
21	平成25年度特別展「西光院～歴史と文化財～」	宮代町の古刹である西光院について、町指定文化財の中世文書、歴代将軍の朱印状、徳川家康画像、徳川家より拝領の茶碗をはじめ、古代～近代にいたる西光院の歴史と文化財について多くの資料を紹介しています。	200円	平成25年10月

22	平成26年度特別展「英文学者 島村盛助Ⅱ」	平成15年度の特別展以降続けてきた調査の結果、幼少期から晩年までの貴重な写真や、イギリス留学中に収集された数々の書籍、あるいは戦後に刊行された「岩波英和辞典 新增訂版」の編さんに関する資料など、数々の資料が確認されました。こうした新出の資料を中心に、島村盛助氏の人物像を紹介しています。	200円	平成26年11月
23	平成27年度特別展「道中日記～江戸時代の旅」	宮代町に在住した人々の道中日記から江戸時代の旅について復元しています。旅のルートは、全部で9コース有り、伊勢参宮や西国三十三箇所めぐり、熊野詣、金比羅山、出羽三山、房総方面などに行っています。	200円	平成27年11月
24	平成28年度特別展「宮代町の指定文化財」	宮代町指定文化財(平成28年10月末現在)を網羅しています。徳川将軍家朱印状12通や徳川家康画像、栗田口焼茶碗、円空仏、地藏院阿弥陀如来像、西光院中世文書、宝生院鰐口、多少庵俳額、五社神社和鏡。関根家文書岩槻城絵図、岩崎家文書や折原家文書では百間村絵図などを展示しました。	200円	平成28年10月
25	平成29年度特別展「古墳時代の拠点集落～道仏遺跡～」	平成9年度から26年度にかけて計5回にわたり発掘調査が実施された道仏遺跡を紹介した特別展です。計148軒の住居跡や東海産須恵器の甕(はそう)、韓式系軟質土器などの出土品の紹介のほか、古墳時代の豪族の勢力範囲と水上交通で繋がる道仏遺跡の関わりについてをまとめています。	200円	平成29年10月
26	平成30年度特別展「明治時代のみやしろ」	今年は明治元年から150年を迎える年です。明治政府による近代化の波は、町域にも大きな影響を与え、地域社会や暮らしに大きな変化をもたらしました。本展示では、町域に残る史料から、社会や政治、文化などの変化を人々がどのように受け入れていったのかを紹介しています。	200円	平成30年10月
27	令和元年度特別展「みよしろの消防」	日本全域における消防制度の確立は、今から145年前に制定された「消防章程」に始まり、現在のような自治体消防制度となったのは約70年前のことです。今回の特別展は、町域に残されている古文書や古写真、道具類などの歴史資料から、町域における消防制度の変遷を紐解いてみました。宮代町域を守ってきた先人たちの足跡を辿ることにより、防災に対する私たちの心構えがどうあるべきなのかを見直すための良い機会とすることをその目的としています。	200円	令和元年10月
28	令和2年度特別展「資料館のあしもと 地藏院遺跡展～考古学のいろは～」	町域にある遺跡の一つである地藏院遺跡について特集した特別展です。 地藏院遺跡は、郷土資料館のある「西原自然の森」や百間小学校敷地周辺へと広がる遺跡で、縄文時代の集落跡にはじまり、中・近世の遺構・遺物が見つかるなど、長きにわたって人々の生活の痕跡が残る遺跡です。昭和63年に第1次調査が行われて以来、この遺跡内で現在までに30回近くの調査が行われています。令和2年度に、昭和63年度第1次調査の報告書刊行が予定されていたことから、いち早くその成果について紹介したものです。	200円	令和02年10月
29	令和3年度特別展「俳諧結社 多少庵～史料に見る活動の広がり～」	松尾芭蕉の流れを汲み、江戸時代半ばまでは深川に拠点が置かれていた俳諧結社 多少庵。その拠点を百間の地に移したのは、第4世島村鬼吉でした。この特別展では、江戸から百間に拠点が移った多少庵の活動範囲がどのように変わったのかを、句集や摺物などの史料を通して紹介しています。	200円	令和03年10月

30	令和4年度特別展「真藏院の版木」	真藏院は真義真言宗に属するお寺で、仁治年間(1240～1243年)に草創と伝わります。境内にある薬師堂の本尊である薬師如来は「身代わり薬師」と称され、古くから信仰を集めてきました。特別展は、真藏院で確認された46点の版木調査の成果をまとめたものです。これらの版木は、真藏院の歴史や信仰を知ることができ、また、宮代町域の歴史を紐解くためにも重要な資料と言えます。	200円	令和4年10月
31	令和5年度特別展図録「古代のみやしろ～古墳時代の宮代町～」	宮代町内の発掘調査では、4世紀後半に鉄器を制作する鍛冶工房が見つかった山崎山、姫宮地域では住居が営まれ古墳築造の準備が始まっていたこと、5世紀には姫宮に古墳群が造立されると、中心的な集落が山崎山から複数の河川流路を有する道仏に移ったことがわかっています。道仏は上流・下流からさまざまな文化が伝わる拠点としておよそ1世紀にわたり栄えたと考えられ、上毛野(群馬県)からは希少な韓式系土器が伝わっています。今回の展示では、山崎山遺跡・姫宮神社遺跡・道仏遺跡の3遺跡に注目し、町外・県外の貴重な資料と共に周辺地域のつながりを紹介します。	200円	令和5年10月
32	令和6年度特別展図録「みやしろの仏たち」	6世紀半ばに公伝した仏教は、日本の神道の神々と融合しながら、人々に信仰されてきました。救われたいという人々の願いから、さまざまな仏像や絵画作品が造られ、明治時代初期の神仏分離を経て今に伝わっています。今回の展示では、宮代町域に残るさまざまな仏の姿や、身近な場所にあるそれらに込められた人々の願いや祈りについて 紹介しています。	200円	令和6年10月
32	企画展 カラーパンフレット		時価	

今回の図録では、宮代町域に残るさまざまな仏の姿や、身近な場所にあるそれらに込め

4 その他の頒布資料

NO	名 称	内 容	頒布価格	発行日
1	齋藤甲馬と宮代	(紹介文より) 関東平野の真ん中に齋藤甲馬という名物町長がいた。昭和30年、宮代町誕生とともに町長となって、昭和57年に没するまでずっと町長だった。合併前の百間村の村長時代からすると31年にわたって政治の道を歩むうちに「ユニークな町長」「気骨と先見性の独裁者」「町の一人ひとりに向き合う人」「教育を重んじる人」などと言われるようになる人物だった。そして、「給食なし、部課長なし、低層のまち、自立型のまち」等々の甲馬流行政は全国から視察がやってくるほどだった。 ※この本は齋藤甲馬の本実行委員会より寄贈いただいたもので、頒布以外に「ふるさと納税(宮代町に対する寄付)」に対する記念品としてもお送りしています。寄附金は「宮代町まちづくり基金」に積み立てられ、宮代町の歴史資料の保存、伝承に役立てられます。	2,000円	平成23年10月25日
2	新みやしろ郷土かるた	平成7年に制作された「みやしろ郷土かるた」の全面改訂版として、町内小・中学校をはじめ多くの町民の皆さんの参加によって制作されました。楽しく遊びながら、郷土宮代の歴史や人物、特産物や豊かな自然を知り、郷土を愛し、住み良い宮代を築き上げて欲しいという願いが込められています。	500円	平成29年3月

Ⅷ 生涯学習施設利用統計

公民館	令和 6 年度		増 減		令和 5 年度		令和 4 年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
和戸公民館	1,980	15,864	124	903	1,856	14,961	1,977	15,037
百間公民館	1,269	13,731	▲ 154	▲ 596	1,423	14,327	1,513	14,493
川端公民館	1,700	13,003	▲ 101	▲ 270	1,801	13,273	1,916	13,171
合 計	4,949	42,598	▲ 131	37	5,080	42,561	5,406	42,701

宮代町総合運動公園	令和 6 年度		増 減		令和 5 年度		令和 4 年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
屋外施設	3,421	48,158	▲ 18	2,183	3,439	45,975	3,899	52,584
野球場	249	13,126	31	▲ 218	218	13,344	239	16,599
ソフトボール場	179	5,041	13	▲ 20	166	5,061	179	4,946
テニスコート	2,835	21,362	▲ 100	212	2,935	21,150	3,362	23,809
多目的広場	158	8,629	38	2,209	120	6,420	119	7,230
屋内施設	51,965	156,466	46,551	8,361	5,414	148,105	5,382	145,289
メインアリーナ	1,380	31,397	140	5,134	1,240	26,263	1,434	28,292
サブアリーナ	1,200	14,294	32	▲ 796	1,168	15,090	1,165	14,566
剣道場	589	11,210	41	▲ 852	548	12,062	538	11,255
柔道場	404	5,627	▲ 1	297	405	5,330	466	6,254
弓道場	1,187	4,609	▲ 73	▲ 3	1,260	4,612	1,009	4,003
会議室	481	6,573	39	1,983	442	4,590	413	5,182
研修室	391	8,065	40	2,346	351	5,719	357	5,729
トレーニング室	12,800	12,800	12,800	722		12,078		10,624
室内プール	33,533	61,891	33,533	▲ 470		62,361		59,384
合 計	55,386	204,624	46,533	10,544	8,853	194,080	9,281	197,873

町内グラウンド等	令和 6 年度		増 減		令和 5 年度		令和 4 年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
グラウンド	1,652	29,167	381	2,514	1,271	26,653	1,302	29,118
前原	512	9,325	123	1,821	389	7,504	404	9,746
東条原	343	5,123	31	460	312	4,663	269	4,558
東	200	2,276	67	257	133	2,019	161	2,163
宮東	597	12,443	160	▲ 24	437	12,467	468	12,651
テニスコート								
宮東テニスコート	1,858	14,471	208	1,640	1,650	12,831	1,689	14,720
アーチェリー								
山崎アーチェリー場	3,034	3,034	781	781	2,253	2,253	2,095	2,095
合 計	6,544	46,672	1,370	4,935	5,174	41,737	5,086	45,933

学校開放		令和6年度		増	減	令和5年度		令和4年度	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
校庭		594	13,933	▲ 20	▲ 809	614	14,742	615	14,966
	須賀小学校	88	2,177	▲ 15	337	103	1,840	70	1,495
	百間小学校	176	3,955	▲ 11	▲ 457	187	4,412	162	2,944
	笠原小学校	176	4,246	▲ 3	▲ 534	179	4,780	203	5,502
	前原中学校	154	3,555	9	▲ 155	145	3,710	180	5,025
体育館等		1,432	25,194	153	142	1,279	25,052	1,366	24,849
	須賀小学校	122	2,072	▲ 2	▲ 179	124	2,251	94	1,667
	百間小学校	226	5,572	▲ 103	▲ 2,811	329	8,383	312	7,388
	東小学校	276	4,777	87	▲ 750	189	5,527	237	5,918
	笠原小学校	338	5,807	87	1,924	251	3,883	359	5,297
	須賀中学校	235	2,258	54	296	181	1,962	147	1,689
	百間中学校	146	3,385	93	2,644	53	741	59	640
	前原中学校	50	735	▲ 76	▲ 1,034	126	1,769	149	2,088
	笠原小学校(集会室)	39	588	13	52	26	536	9	162
合 計		2,026	39,127	133	▲ 667	1,893	39,794	1,981	39,815

宮代町立図書館		令和6年度		増	減	令和5年度		令和4年度	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
図書資料(冊)		274,436		2,025		272,411		270,222	
	うち一般書	207,825		1,228		206,597		205,183	
	児童書	66,611		797		65,814		65,039	
視聴覚資料(点)		8,170		▲ 69		8,239		8,121	
貸出者数(人)		69,084		▲ 3,061		72,145		75,679	
うち広域対象		19,608		▲ 1,607		21,215		21,463	
貸出冊数(冊)		232,720		▲ 16,482		249,202		266,832	
うち広域対象		60,664		▲ 6,366		67,030		71,147	
貸出施設		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
	ホール	187	4,543	2	189	185	4,354	202	4,462
	研修室	443	2,948	117	▲ 389	326	3,337	301	3,016
	展示ホール	17	-	0	-	17	-	14	-
合 計		647	7,491	119	▲ 200	528	7,691	517	7,478

郷土資料館		令和6年度		増	減	令和5年度		令和4年度	
		人数		人数		人数		人数	
来館者数		11,313		1,391		9,922		8,503	
	特別展	2,337		▲ 61		2,398		1,580	
	企画展	8,976		1,452		7,524		5,912	